ヘルスリテラシー国際比較調査グラフ集

2024年7月

本調査結果のリリースはこちらからご確認いただけます

Johnson&Johnson
MedTech

調査概要

調査目的	日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア、中国、フィンランドの各国の健康や医療に関するリテラシーついての調査を実施し、現在の日本の、健康・医療分野において、情報を正しく判断し、適切な選択や行動を行い、デジタルテクノロジーを含めたさまざまなリソースをうまく活用していく「力」がどの程度備わっているかを明らかにする。
調査方法	インターネットリサーチ
調査地域	日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア、中国、フィンランド
調査対象者	各国の男女20歳～69歳
実施日程	2023年10月26日(木）～11月７日(火)
サンプル数割付	■**日本、アメリカ、イギリス、オーストラリア、中国、フィンランド**：各国500人 各国ごとに、第1・第2都市居住者　合計500人を回収（※オーストラリア・フィンランドは回収数の都合から回収エリアを第3都市まで拡大） ・日本：東京、大阪 ・アメリカ：NY、LA ・イギリス：London、Manchester ・オーストラリア：Sydney、Melbourne、Brisbane ・中国：上海、北京 ・フィンランド：Uusimaa、Pirkanmaa、Varsinais-Suomi ＊なお、日本では、別途、国内調査を実施（回収数：11,750サンプル（47都道府県各250サンプル、47都道府県別に性年代別に25人ずつ回収） ※鳥取県、島根県、佐賀県は男性20代の欠損分を男性30代で補填回収
設問数	日本：スクリーニング調査：3問、本調査:49問 他5カ国：スクリーニング調査：2問、本調査:47問

© Johnson & Johnson K.K. 2024

本レポートの表記について

・本レポートでは、文中・グラフ内の次の用語について、以下の意味で使用しています。

表記	左記表記が示す内容
SA	シングルアンサー（単一回答）形式の設問を示します
MA	マルチアンサー（複数回答）形式の設問を示します
健康診断	健康診断・人間ドック

・本レポートでの構成比（%）の表示について
　本レポートでは構成比（%）は小数第2位以下を四捨五入しています。合計値が100%にならない場合があります。

・本レポートの設問番号（Q番号）の表示について
　本レポートの各ページで表示する設問番号（Q番号）は、「人生100年時代 × デジタル社会の総合的なヘルスリテラシー国際調査」の設問番号を表示しており、本レポートの掲載順とは異なります。

© Johnson & Johnson K.K. 2024

目次

1. 情報収集・判断 ：P. 4
2. 行動 ：P.26
3. デジタル活用 ：P.46
4. コミュニケーション ：P.55
5. 回答者属性 ：P.65

© Johnson & Johnson K.K. 2024

情報
収集・判断

J&J MedTech

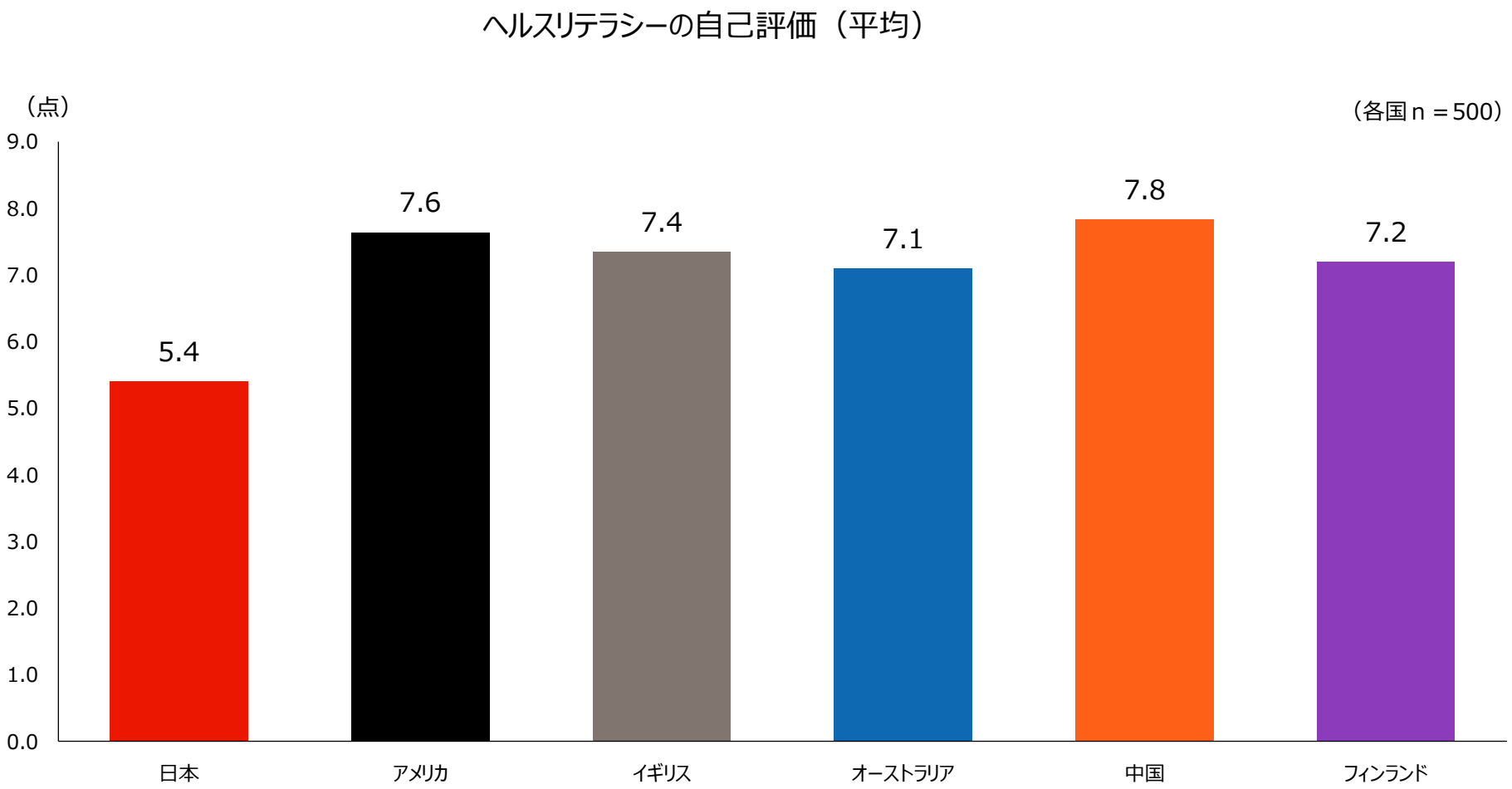
情報収集・判断

- ヘルスリテラシーの自己評価
- 健康・医療に関する情報収集・情報源
  - 健康情報の収集
  - 健康情報の情報源
  - 医療情報の収集
  - 医療情報の情報源
- 健康・医療に関する情報判断
  - 健康情報の判断
  - 医療情報の判断
- 健康・医療情報が正しいと判断する基準
- 健康・医療情報で困っていること
  - 健康情報
  - 医療情報
- 「健康」について
  - 「健康」の定義に関する考え
  - 自身の「健康」状態
- 寿命・健康寿命について
  - 寿命・健康寿命に関する認知
  - 寿命・健康寿命に関する考え
  - 寿命と健康寿命のギャップについて

© Johnson & Johnson K.K. 2024

ヘルスリテラシーの自己評価

Q1：あなたのヘルスリテラシー（健康情報を入手し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力）を10点満点で自己評価をすると、何点だと思いますか？
（SA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

ヘルスリテラシーの自己評価

Q1：あなたのヘルスリテラシー（健康情報を入手し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力）を10点満点で自己評価をすると、何点だと思いますか？
（SA　設問対象者：全体）

ヘルスリテラシーの自己評価

(%)

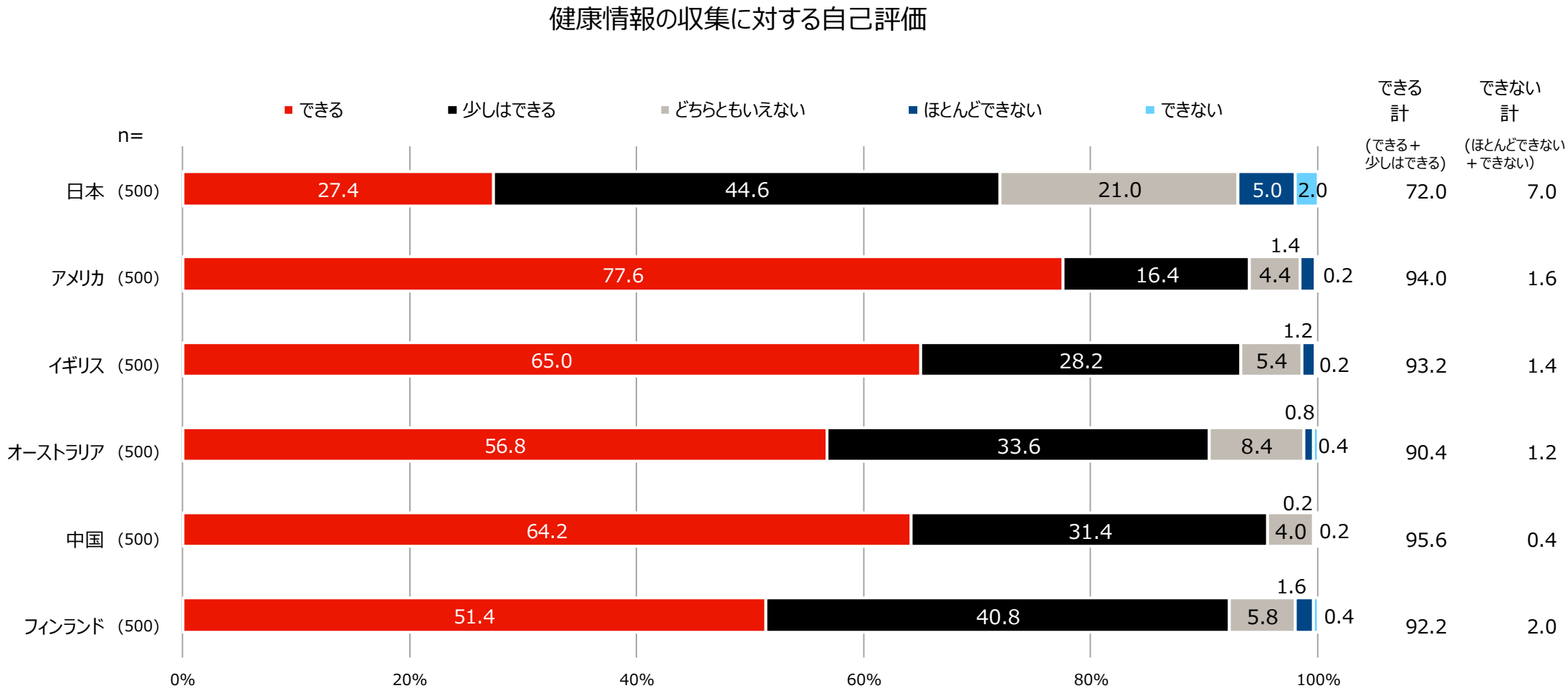
n=	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均点
日本　(500)	2.8	1.4	4.8	9.2	8.6	28.6	15.0	12.2	10.4	4.2	2.8	**5.40**
アメリカ　(500)	1.6	0.2	0.2	1.6	2.8	7.6	8.4	16.4	25.6	16.8	18.8	**7.64**
イギリス　(500)	0.8	0.6	1.0	2.6	2.2	8.4	9.4	21.0	26.0	17.6	10.4	**7.35**
オーストラリア　(500)	0.6	0.2	1.4	1.4	3.6	9.0	14.6	23.8	26.4	12.0	7.0	**7.10**
中国　(500)	0.2	0.0	0.2	0.4	0.8	3.8	7.6	18.6	38.0	24.6	5.8	**7.83**
フィンランド　(500)	0.4	0.2	0.2	2.4	4.2	10.8	8.4	21.6	32.8	13.2	5.8	**7.19**

© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報収集・情報源

健康情報の収集

Q2：あなたは、健康に関する情報（ご自身の”体調や健康”を管理するための情報）を収集することができますか？
（SA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報収集・情報源

健康情報の情報源

Q3：あなたは健康に関する情報（ご自身の”体調や健康”を管理するための情報）をどこから収集しますか？
（MA　設問対象者：全体）

健康情報の情報源

(%)

n=	テレビ	新聞	ラジオ	書籍・雑誌	ニュースサイト	自国の政府や公的機関のウェブサイト	企業など民間のウェブサイト（掲示板やQAサイトを除く）	掲示板サイトやQAサイト（医療関係者へのオンライン相談を除く）	ソーシャルメディア	チラシ・パンフレット	病院・クリニックなどの医療機関（ウェブサイト含む）	家族や友人・知人	薬局、薬店、ドラッグストアなどの店頭	その他	特にない
日本　(500)	51.4	16.4	8.0	18.2	38.0	13.4	23.2	16.6	30.8	7.0	41.4	34.2	18.6	3.6	10.4
アメリカ　(500)	39.8	22.8	16.4	26.6	38.4	41.2	37.2	16.0	38.2	9.8	55.0	36.2	31.8	5.6	3.6
イギリス　(500)	33.8	21.8	12.8	24.8	35.4	56.8	31.4	11.0	27.8	6.6	60.4	38.8	36.6	3.4	3.0
オーストラリア　(500)	28.4	12.8	12.4	15.4	23.4	47.0	32.2	9.2	26.4	9.0	51.2	32.8	37.8	6.4	6.0
中国　(500)	45.0	11.4	9.8	31.4	44.2	32.4	21.0	44.2	65.0	14.6	72.0	52.6	60.8	0.6	2.6
フィンランド　(500)	29.8	23.2	7.6	34.8	44.0	36.0	37.4	9.6	29.8	12.4	54.6	35.4	47.2	10.4	6.8

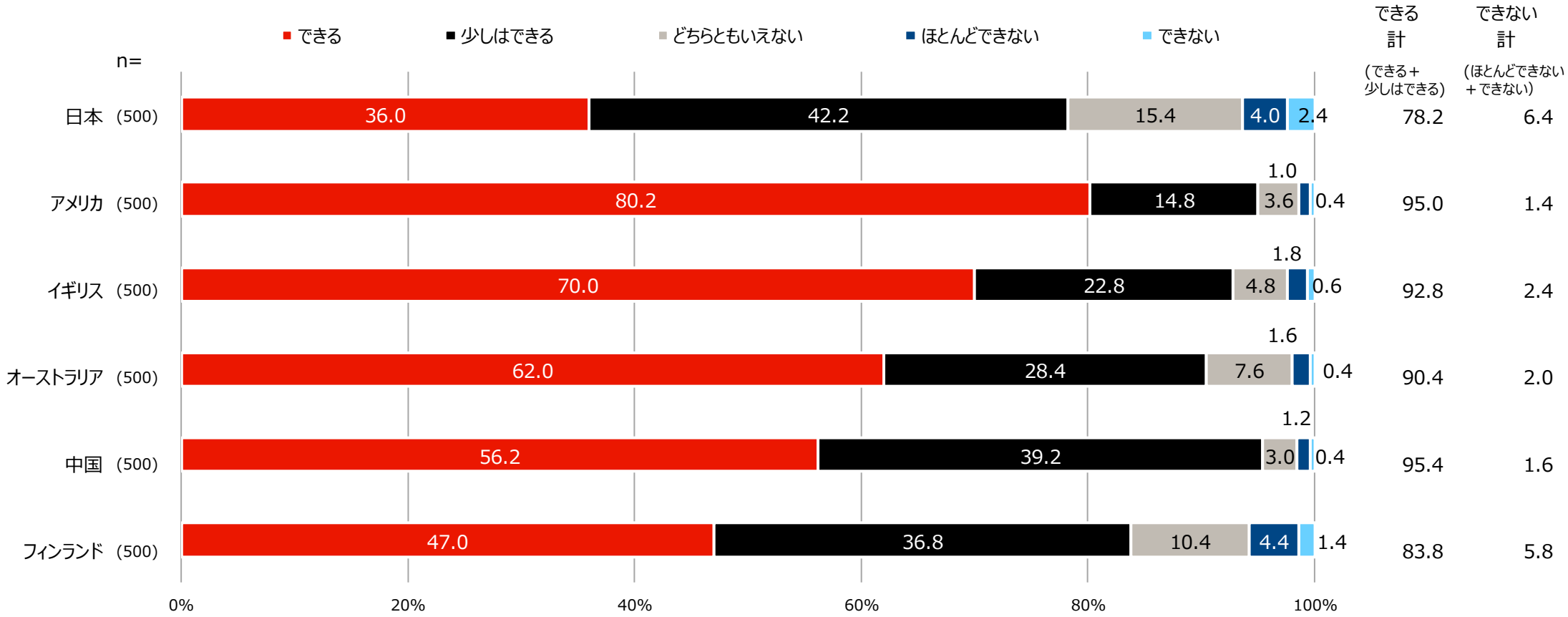
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報収集・情報源

医療情報の収集

Q4：あなたは、受けるべき予防接種や健康診断・検診に関する情報を収集することができますか？
（SA　設問対象者：全体）

予防接種や健康診断・検診情報の収集に対する自己評価



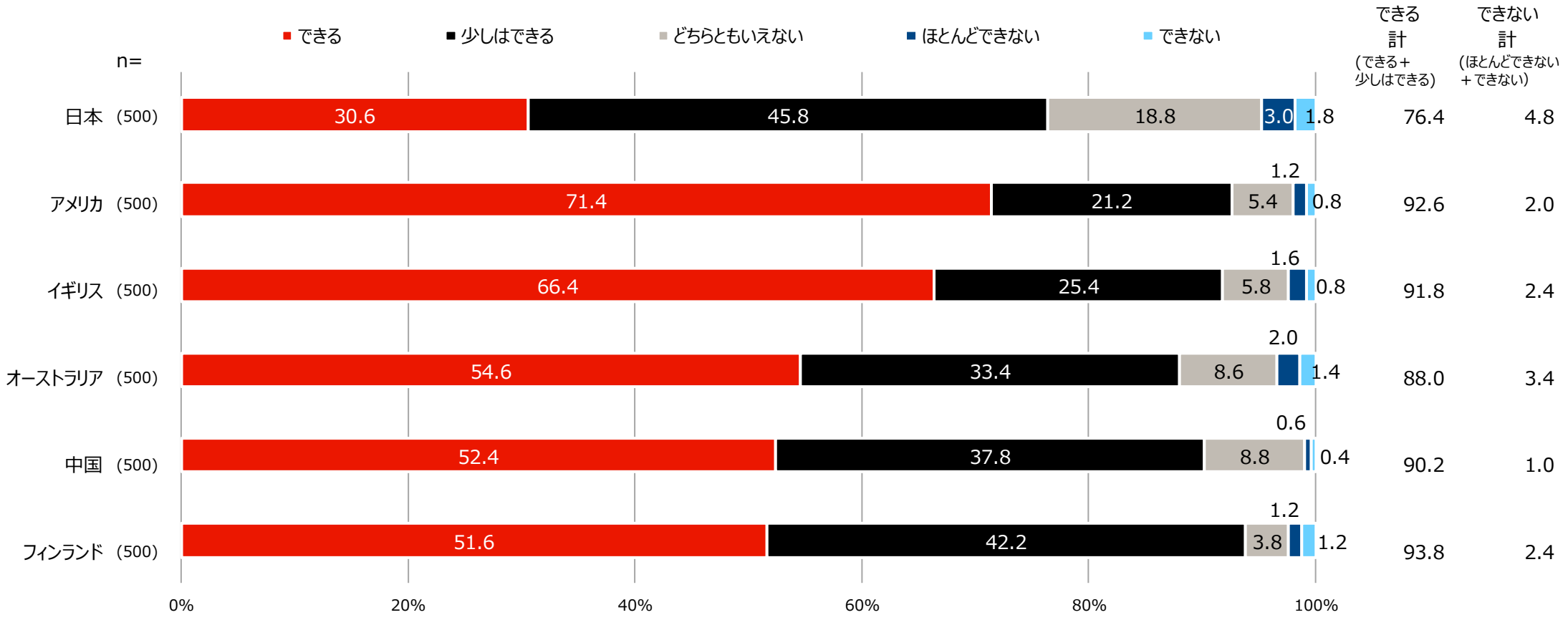
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報収集・情報源

医療情報の収集

Q5：あなたは病気の症状に関する情報を収集することができますか？
（SA　設問対象者：全体）

病気の症状に関する情報の収集に対する自己評価



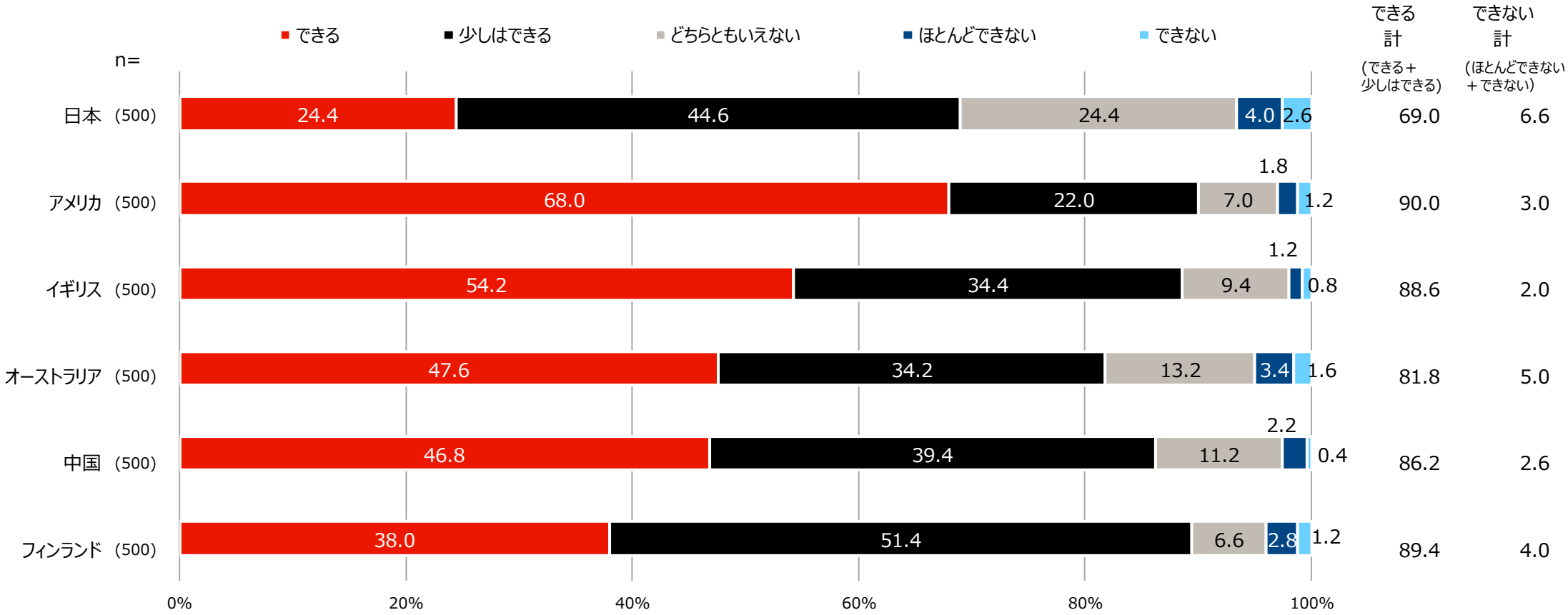
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報収集・情報源

医療情報の収集

Q6：あなたは病気の治療法に関する情報を収集することができますか？
（SA　設問対象者：全体）

病気の治療法に関する情報の収集に対する自己評価



© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報収集・情報源

Q7：あなたは病気や治療法などの医療情報をどこで収集しますか？
（MA　設問対象者：全体）

医療情報の情報源

病気や治療法など医療情報の情報源

(%)

n=	テレビ	新聞	ラジオ	書籍・雑誌	ニュースサイト	自国の政府や公的機関のウェブサイト	企業など民間のウェブサイト（掲示板やQAサイトを除く）	掲示板サイトやQAサイト（医療関係者へのオンライン相談を除く）	ソーシャルメディア	チラシ・パンフレット	病院・クリニックなどの医療機関（ウェブサイト含む）	家族や友人・知人	薬局、薬店、ドラッグストアなどの店頭	その他	特にない
日本　(500)	43.8	13.2	6.6	17.2	35.2	20.2	34.4	21.6	28.0	5.8	55.2	30.6	19.0	2.8	9.0
アメリカ　(500)	33.6	19.8	13.0	21.6	31.4	45.2	45.0	18.0	34.2	7.8	57.4	29.0	32.2	5.8	4.0
イギリス　(500)	28.2	18.0	12.2	17.2	26.2	65.0	33.8	14.0	21.2	6.8	63.2	29.8	35.8	2.2	3.0
オーストラリア　(500)	21.6	8.0	9.0	10.2	24.2	52.4	38.2	12.4	20.4	8.4	58.4	27.2	33.6	6.2	4.8
中国　(500)	33.6	10.8	11.2	25.8	38.0	31.6	26.2	48.2	59.2	15.8	74.8	42.4	60.6	1.0	1.8
フィンランド　(500)	23.2	18.2	5.6	28.4	32.4	39.0	42.8	12.2	24.4	13.2	63.6	30.0	43.4	13.0	4.4

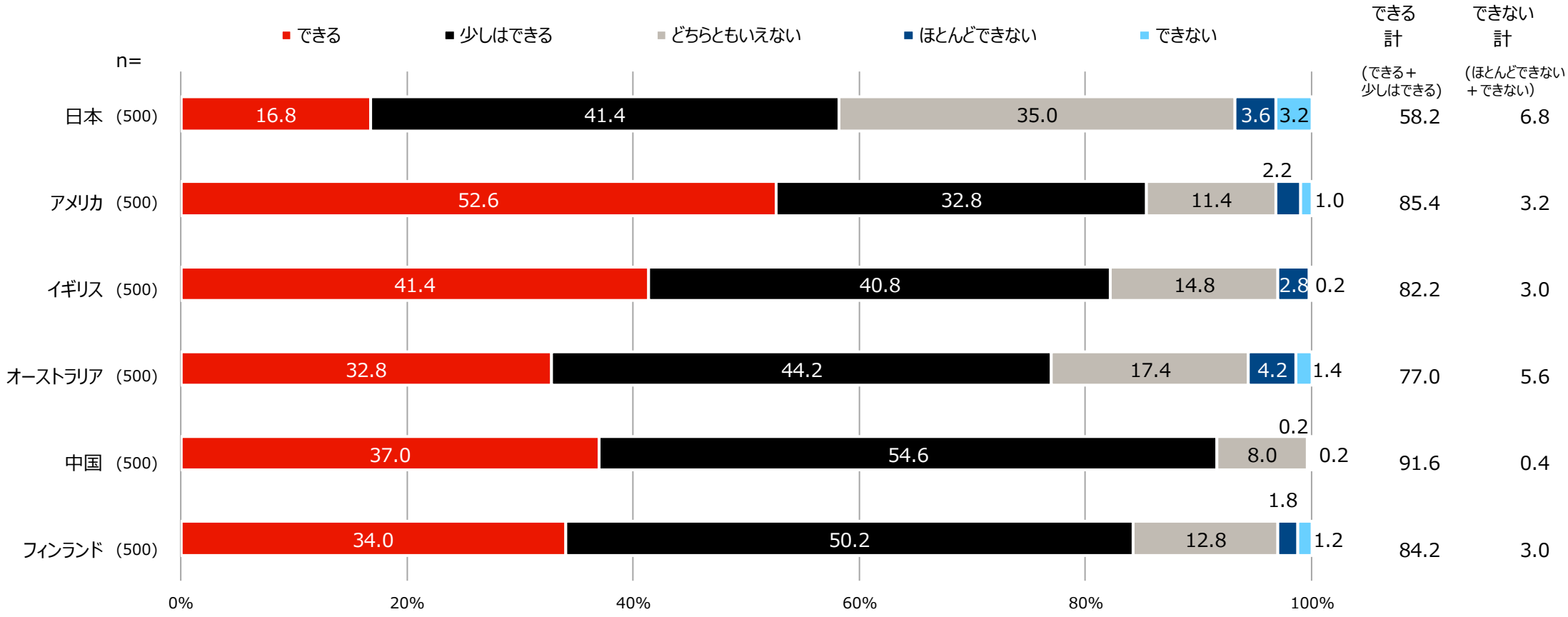
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報判断

健康情報の判断

Q8：あなたは、健康に関する情報（ご自身の”体調や健康”を管理するための情報）を正しい情報であると判断できますか？
（SA　設問対象者：全体）

健康情報の判断に対する自己評価



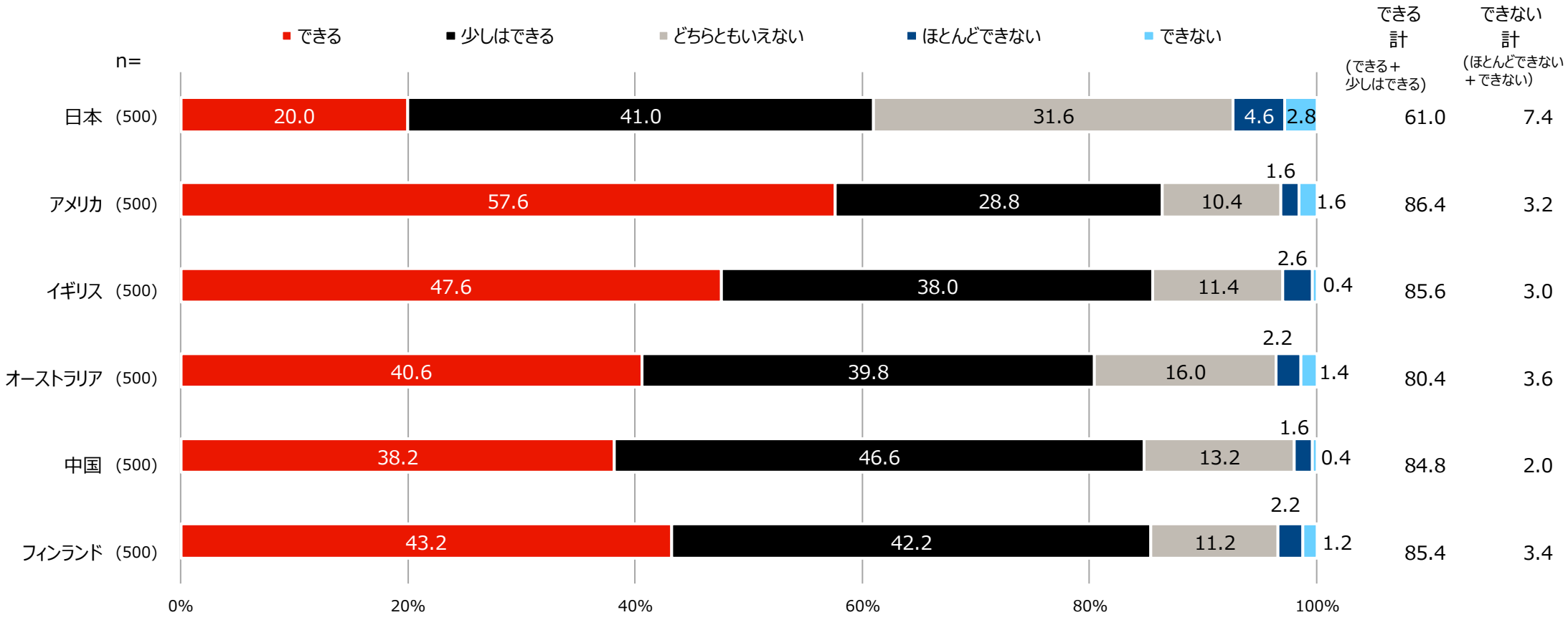
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報判断

医療情報の判断

Q9：あなたは、受けるべき予防接種や健康診断・検診に関する情報を正しい情報であると判断できますか？
（SA　設問対象者：全体）

予防接種や健康診断・検診情報の判断に対する自己評価



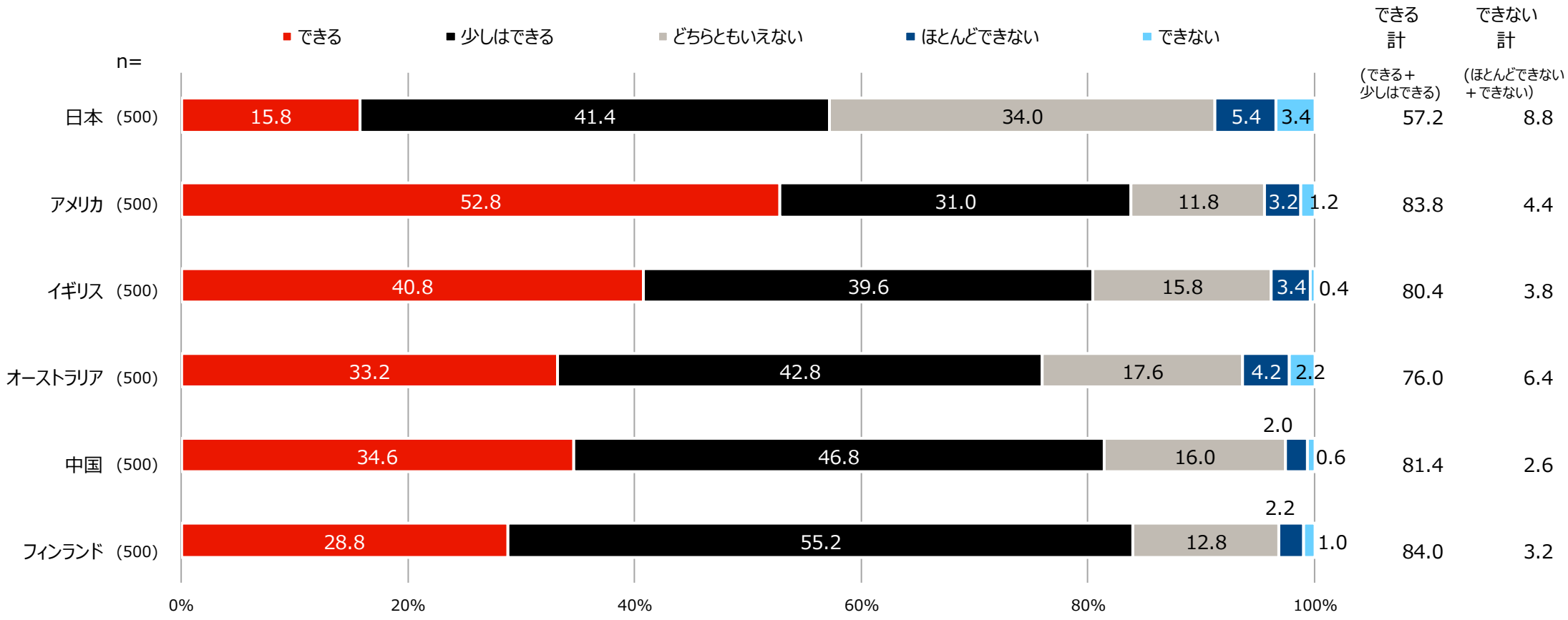
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報判断

医療情報の判断

Q10：あなたは、あなたが収集した病気の症状に関する情報を正しい情報であると判断できますか？
（SA　設問対象者：全体）

病気の症状に関する情報の判断に対する自己評価



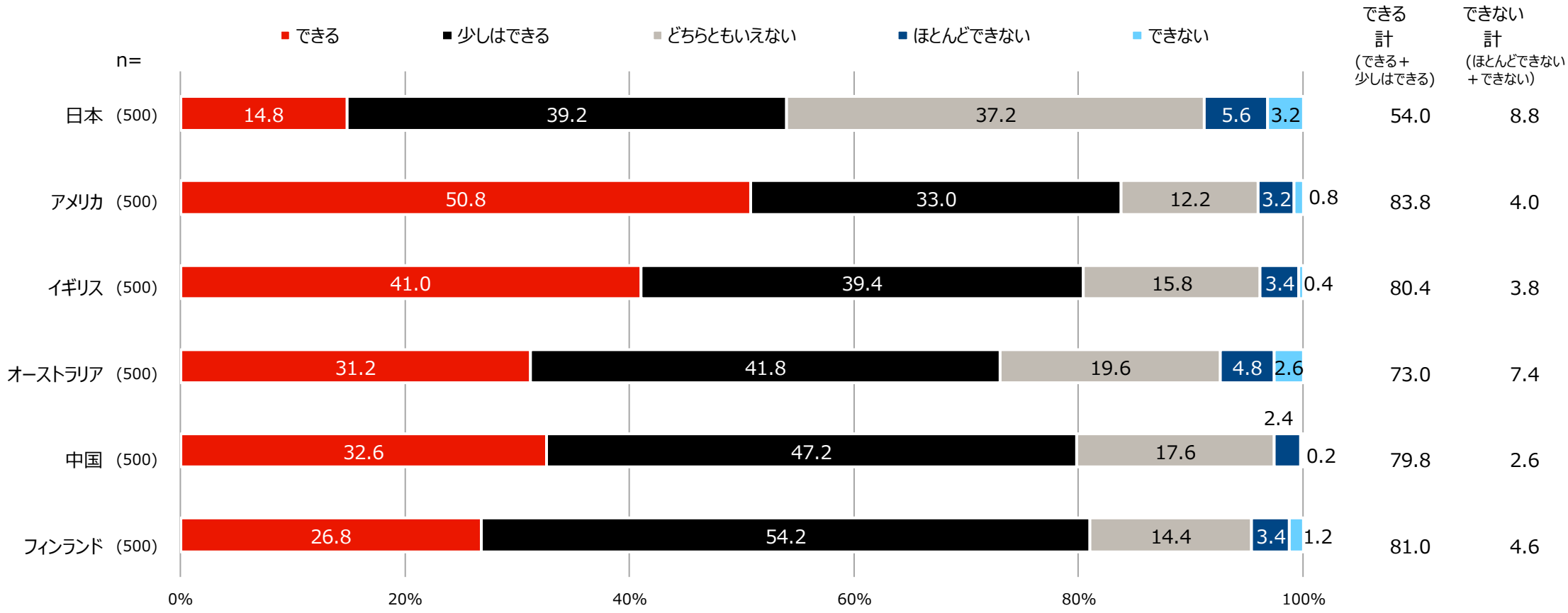
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療に関する情報判断

医療情報の判断

Q11：あなたは、あなたが収集した病気の治療法に関する情報を正しい情報であると判断できますか？
（SA　設問対象者：全体）

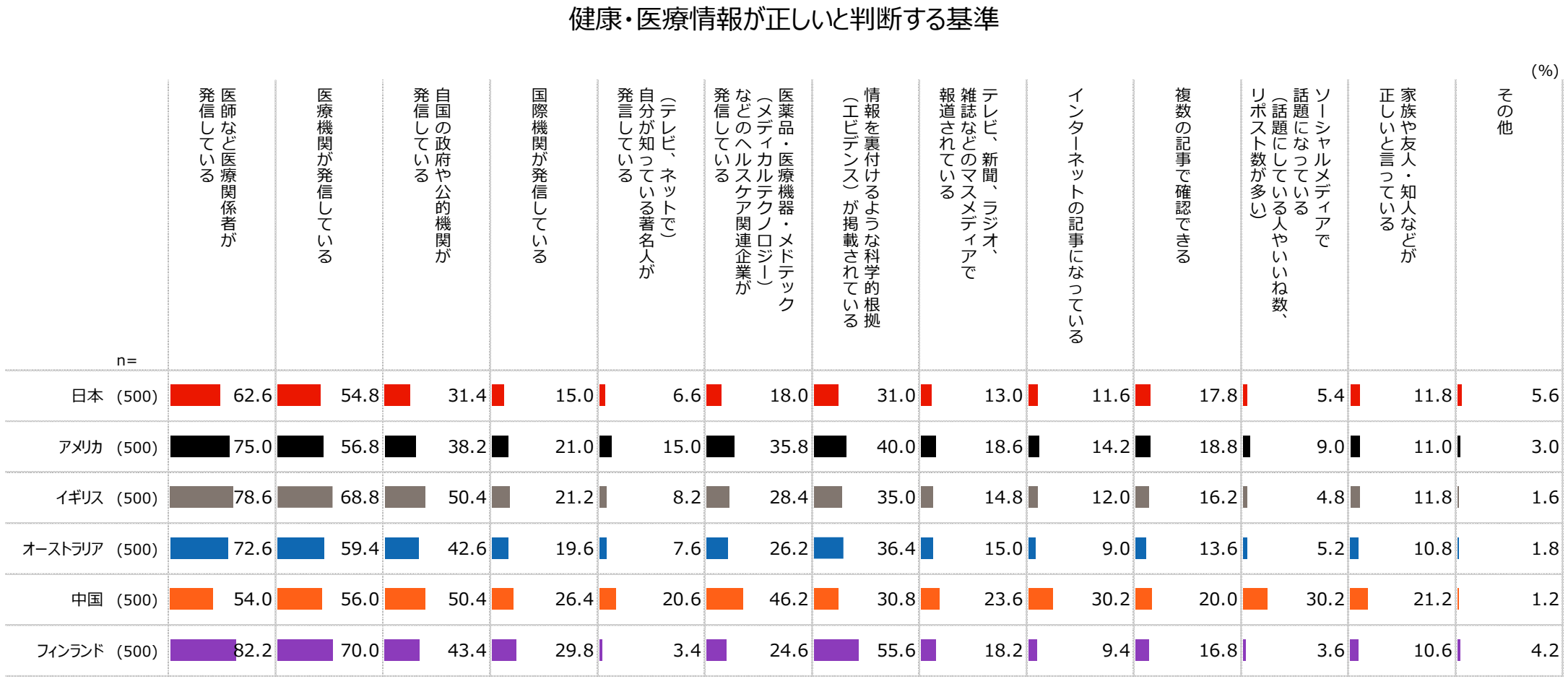
病気の治療法に関する情報の判断に対する自己評価



© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療情報が正しいと判断する基準

Q13：あなたが収集した健康・医療情報が、信頼できる情報（正しい情報）だと判断する際、どのようなことを基準にしていますか？
（MA　設問対象者：全体）



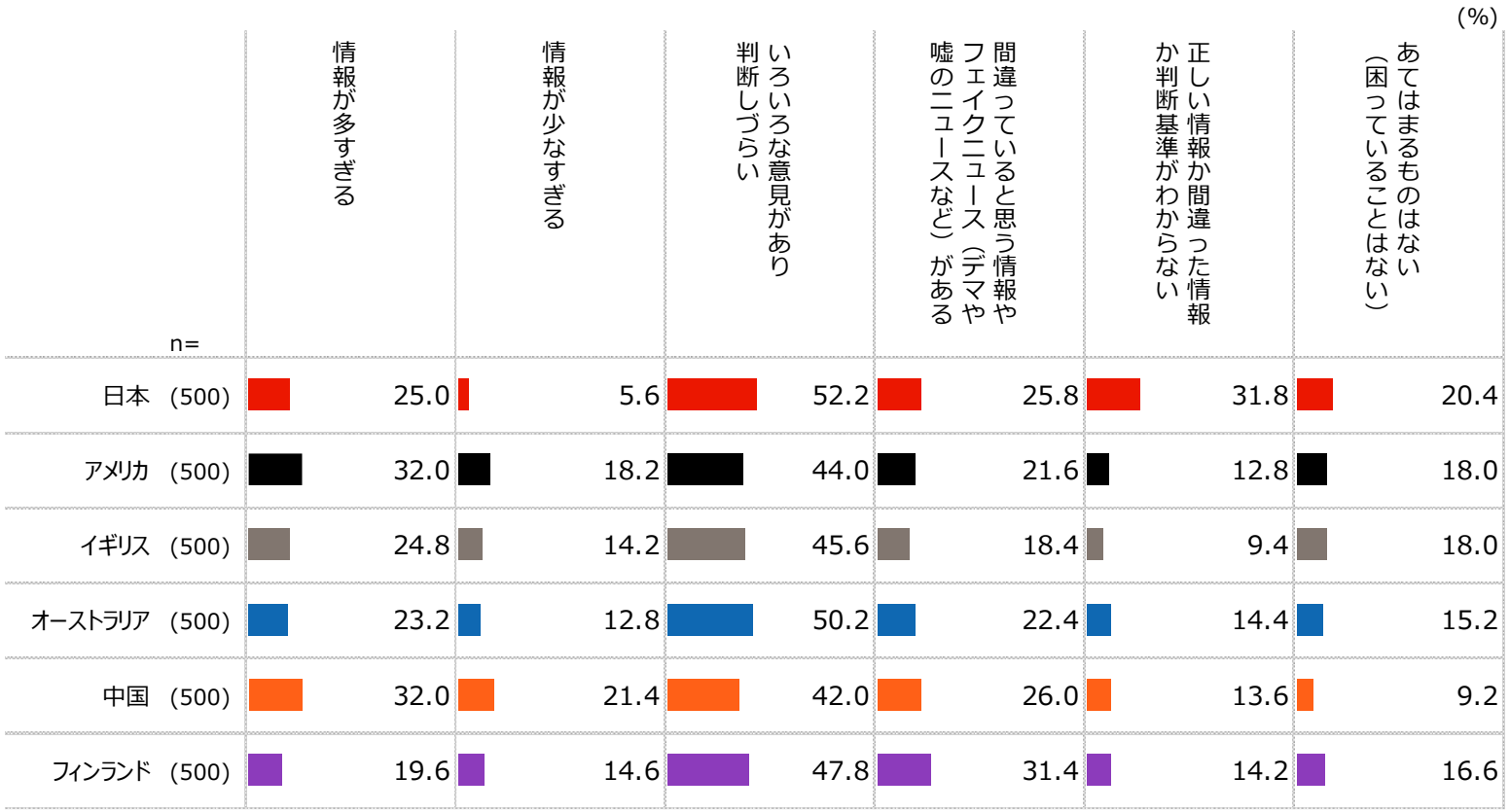
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療情報で困っていること

健康情報

Q12-1：健康に関する情報（ご自身の”体調や健康”を管理するための情報）や医療情報（予防・早期発見、治療後のケアを含む、病気や疾患、治療、受診に関する情報）について、困っていることがあればお答えください。
健康情報、医療情報それぞれについて、以下の中からあてはまるものをすべてお答えください。
健康に関する情報（ご自身の”体調や健康”を管理するための情報）
（MA　設問対象者：全体）

健康に関する情報で困っていること



© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康・医療情報で困っていること

医療情報

Q12-2：健康に関する情報（ご自身の”体調や健康”を管理するための情報）や医療情報（予防・早期発見、治療後のケアを含む、病気や疾患、治療、受診に関する情報）について、困っていることがあればお答えください。
健康情報、医療情報それぞれについて、以下の中からあてはまるものをすべてお答えください。
医療に関する情報（予防・早期発見、治療後のケアを含む、病気や疾患、治療、受診に関する情報）
（MA　設問対象者：全体）

医療に関する情報で困っていること

(%)

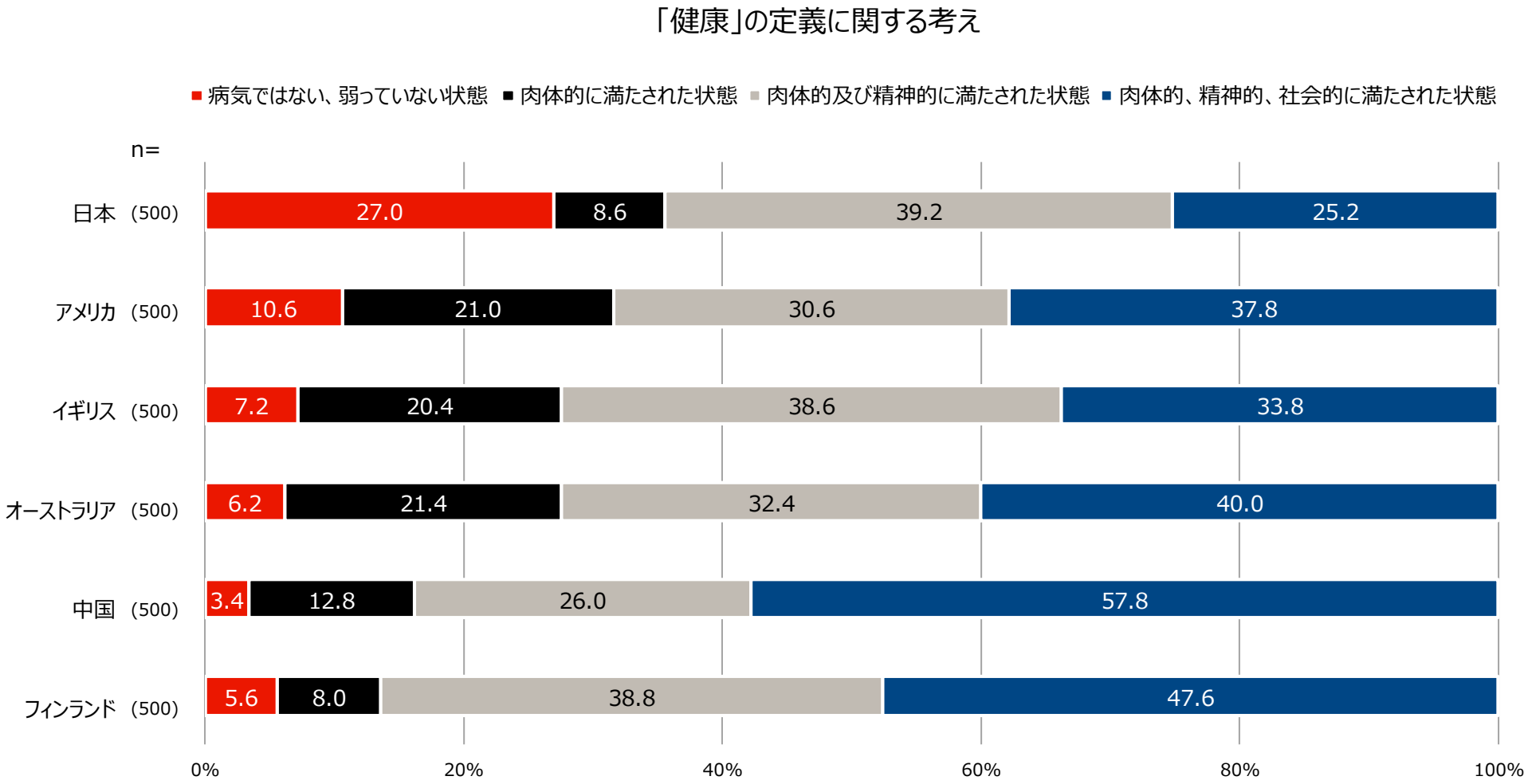
n=	情報が多すぎる	情報が少なすぎる	いろいろな意見があり判断しづらい	間違っていると思う情報やフェイクニュース（デマや嘘のニュースなど）がある	正しい情報か間違った情報か判断基準がわからない	あてはまるものはない（困っていることはない）
日本　(500)	21.4	7.8	49.2	24.0	31.0	21.0
アメリカ　(500)	27.2	19.6	38.6	22.2	15.0	17.8
イギリス　(500)	17.8	16.2	40.4	20.0	14.6	20.0
オーストラリア　(500)	18.0	12.4	42.8	23.8	18.4	16.0
中国　(500)	21.2	24.0	39.2	30.2	20.4	8.0
フィンランド　(500)	11.4	17.2	37.4	30.2	18.6	20.2

© Johnson & Johnson K.K. 2024

「健康」について

「健康」の定義に関する考え

Q14：あなたが考える「健康」の定義について、以下の中で、最も近いものをお答えください。
（SA　設問対象者：全体）

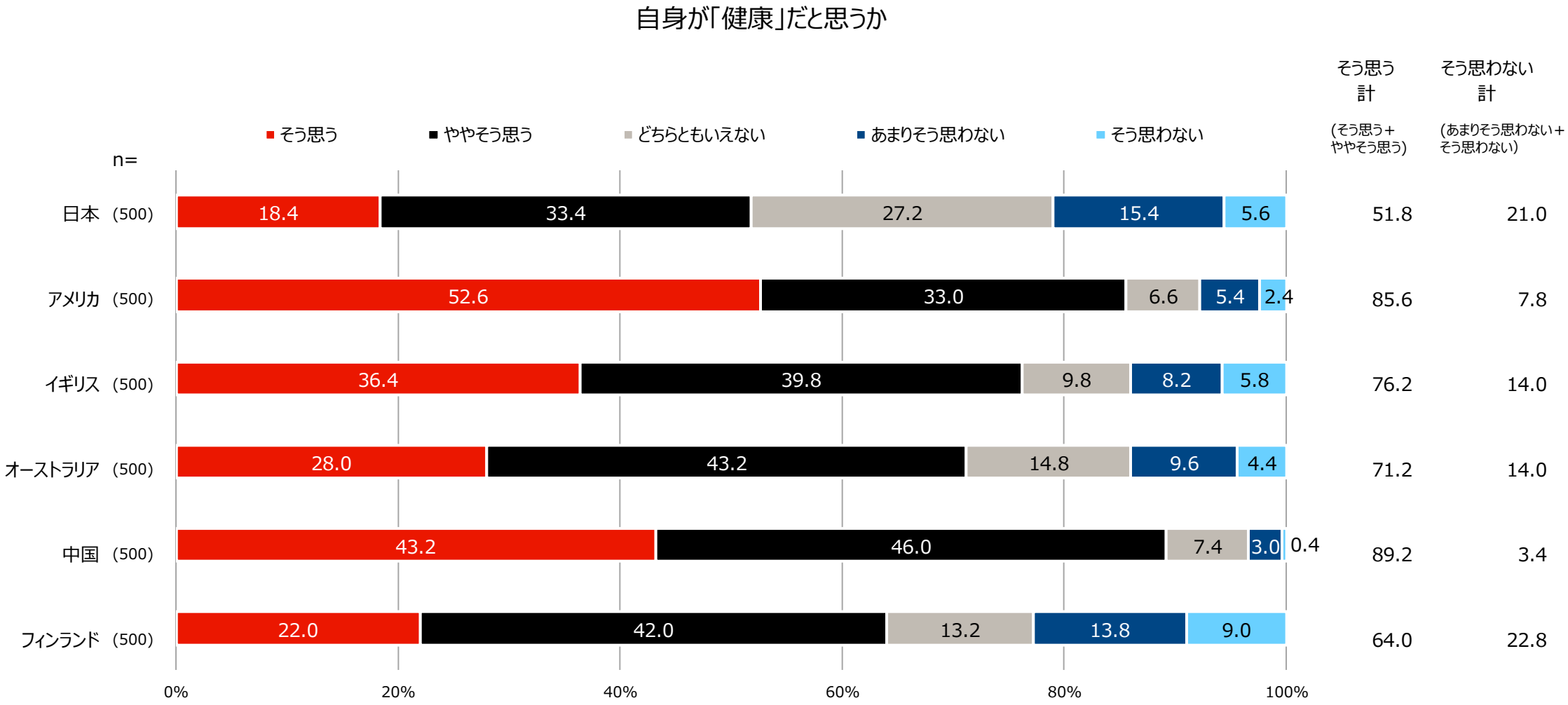


© Johnson & Johnson K.K. 2024

「健康」について

自身の「健康」状態

Q15：世界保健機関（World Health Organization:WHO）は、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態であること」としています。あなたはご自身が「健康」であると思いますか？
（SA 設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

寿命・健康寿命について

寿命・健康寿命に関する認知

Q41：健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）に関する以下の事柄について、あてはまるものをすべてお答えください。
（MA　設問対象者：全体）

健康寿命に関する認知

(%)

n=	平均寿命と健康寿命があることを知っている	自国の健康寿命の平均年齢を知っている	健康寿命がなぜ大事かを説明できる	平均寿命と平均健康寿命の年齢にギャップがあることを知っている	あてはまるものはない
日本　(500)	53.8	20.8	24.2	29.6	31.8
アメリカ　(500)	58.0	34.0	33.6	31.2	11.4
イギリス　(500)	44.8	30.2	24.2	32.0	18.2
オーストラリア　(500)	38.0	33.6	22.8	24.0	18.0
中国　(500)	51.4	58.2	49.8	33.8	5.0
フィンランド　(500)	57.8	29.2	16.0	29.8	16.4

© Johnson & Johnson K.K. 2024

寿命・健康寿命について

寿命・健康寿命に関する考え

Q42：寿命や健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）に関して、以下の中から、あなたにあてはまることをすべてお答えください。
（MA　設問対象者：全体）

寿命や健康寿命に関する考え

(%)

n=	自分の寿命を延ばしたい	自分の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）を延ばしたい	平均寿命が延びる中、国民の平均寿命と健康寿命にギャップができることが社会課題だと思っている	自分が高齢になった時に、寝たきりなどになり、自由に動けなくなる（生活できなくなる）ことが心配だ	寝たきりになる人が多くなることで、社会経済に影響を与えることが心配だ	高齢になっても元気でいられるように、自身の健康管理に取り組んでいる	あてはまるものはない
日本　(500)	19.4	51.2	18.8	46.4	21.8	24.4	14.4
アメリカ　(500)	48.4	59.8	29.2	26.8	15.6	34.4	6.2
イギリス　(500)	43.6	59.4	24.4	30.6	15.2	30.8	6.4
オーストラリア　(500)	40.2	55.0	25.8	31.6	17.4	33.6	5.6
中国　(500)	38.2	60.2	42.6	36.6	25.2	43.8	1.4
フィンランド　(500)	36.0	58.8	19.4	49.8	20.4	43.6	8.2

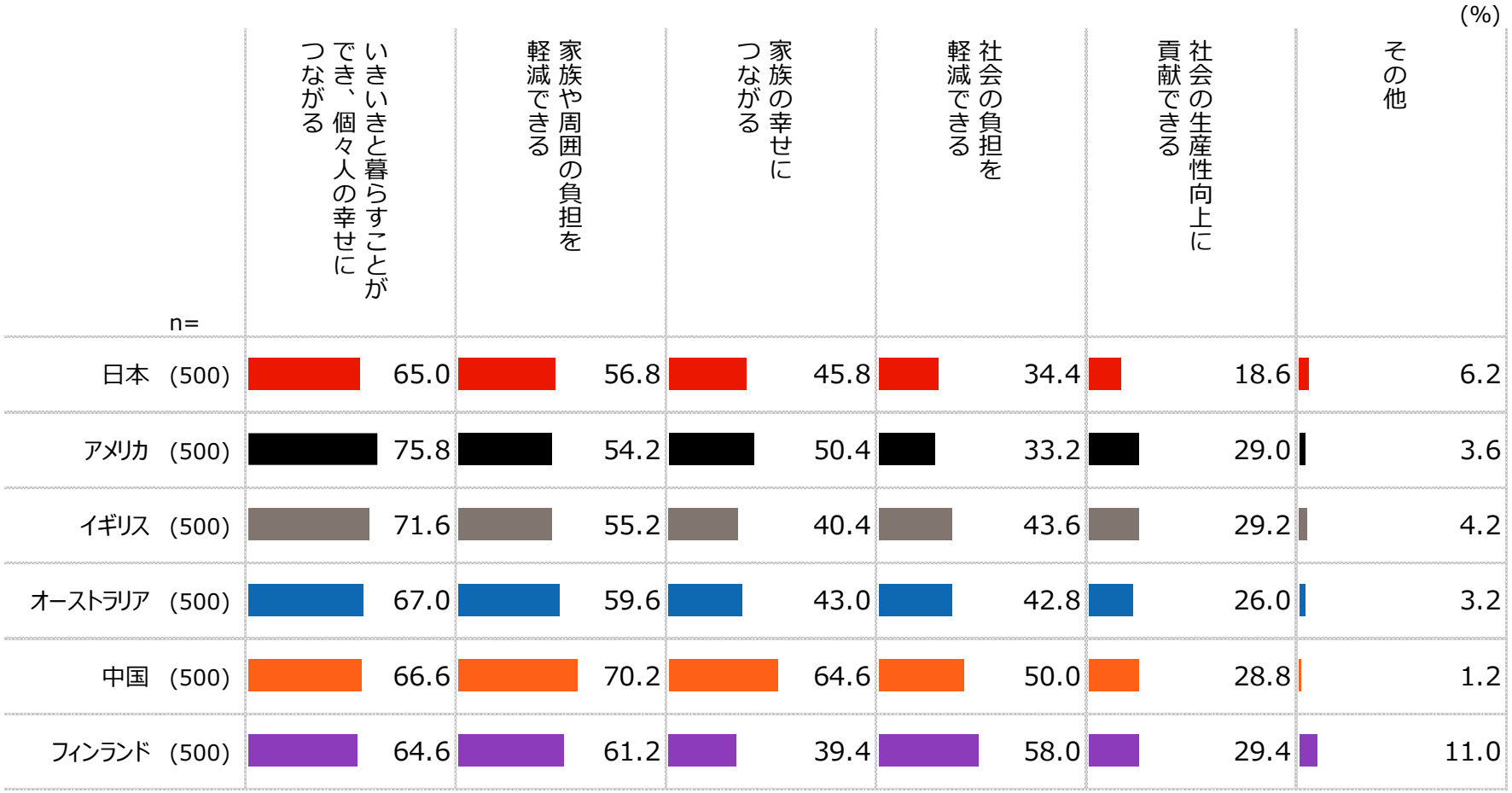
© Johnson & Johnson K.K. 2024

寿命・健康寿命について

寿命と健康寿命のギャップについて

Q43：「平均寿命と健康寿命のギャップをなくすことが大切だ」と言われる理由としてあてはまるものをお答えください。
（MA　設問対象者：全体）

「平均寿命と健康寿命のギャップをなくすことが大切だ」と言われる理由



© Johnson & Johnson K.K. 2024

行動

J&J MedTech

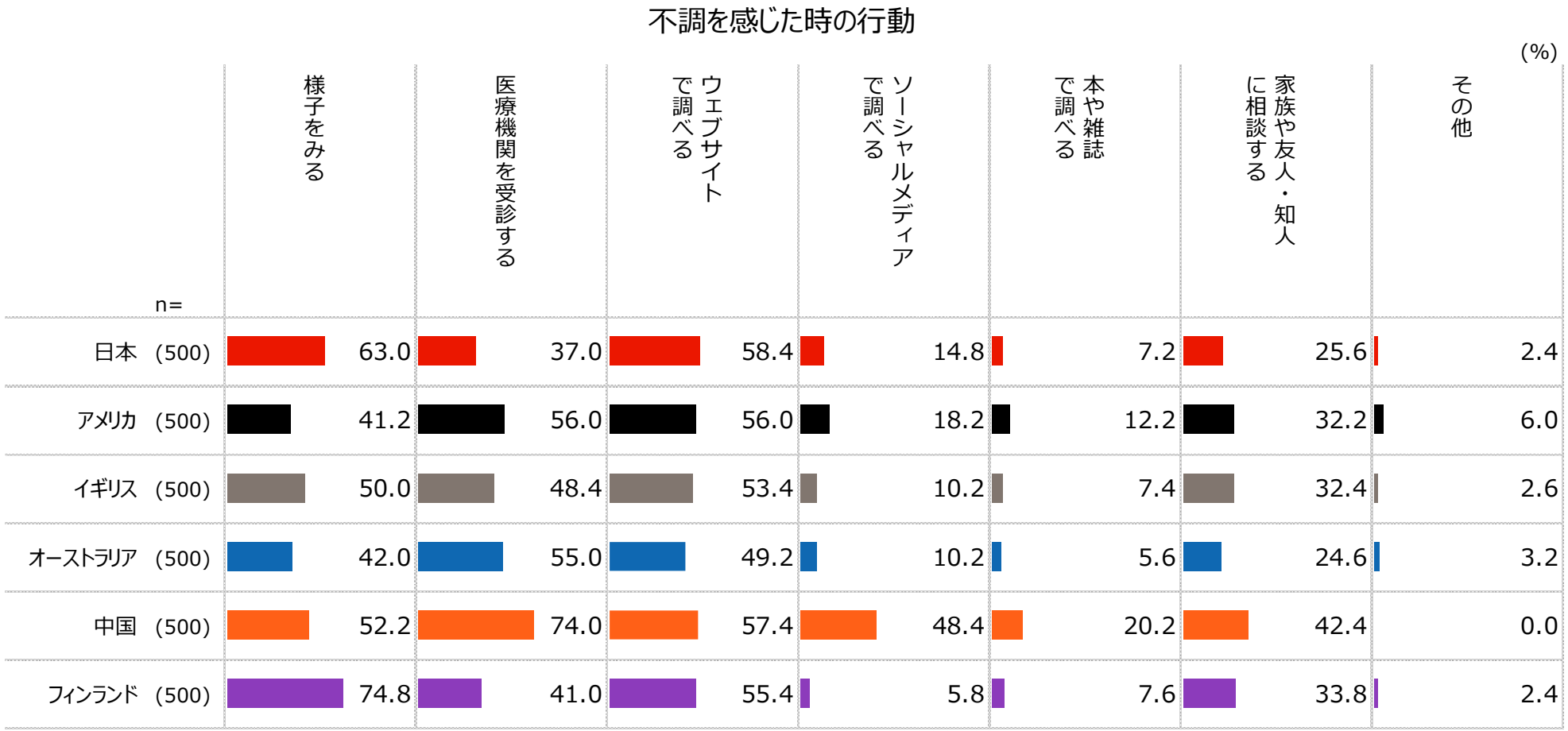
行動

- 不調を感じた時の行動
- 不調時に医療機関を受診する理由
- 適切な医療受診や受診時の症状説明
  - 適切な医療受診
  - 受診時の症状説明
- 三大疾病等の予兆を感じたときの適切な行動
- 相談できる医療機関有無
- 痛みや苦痛について
  - 痛みや苦痛に対する考えや対応
  - 慢性的な痛みや苦痛を感じている時の対応
  - 痛みや苦痛を我慢する理由
- 健康診断・がん検診について
  - 健康診断・がん検診に関する情報認知
  - 再検査への対応
- 病気の予防や健康維持について
  - 病気の予防や健康維持のための考えや行動
  - 病気の予防や健康維持のための行動を行っていない理由
- コロナ禍前後での医療機関受診に対する意識や行動変化

© Johnson & Johnson K.K. 2024

不調を感じた時の行動

Q16：あなたは、原因がはっきりしない不調を感じた時に、どのような行動をとりますか？
（MA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

不調時に医療機関を受診する理由

Q17：前問で、「医療機関を受診する」と回答した方にお聞きします。「医療機関を受診する」と回答した理由をお答えください。
（MA　設問対象者：不調時に医療機関受診者）

不調を感じた時に、「医療機関を受診する」と回答した理由
（不調時に医療機関受診者ベース）

(%)

n=	自己判断せずに、医師（専門家）が判断すべきだと思うから	できるだけ早く、医師（専門家）の判断を仰いだほうがよいから	自分で調べたり、知人に相談したりするよりも、早いから	自分で調べたり、知人に相談したりするよりも、気軽だから	自分で調べたり、知人に相談したりするよりも信頼できるから	その他
日本　(185)	71.4	58.4	13.0	3.8	14.6	0.5
アメリカ　(280)	61.8	65.0	24.3	16.4	32.1	2.1
イギリス　(242)	64.0	69.0	13.6	12.0	34.3	0.4
オーストラリア　(275)	58.9	69.5	13.1	8.7	31.3	1.1
中国　(370)	51.9	66.5	28.4	24.6	35.1	0.0
フィンランド　(205)	57.6	71.7	14.1	9.8	45.9	1.5

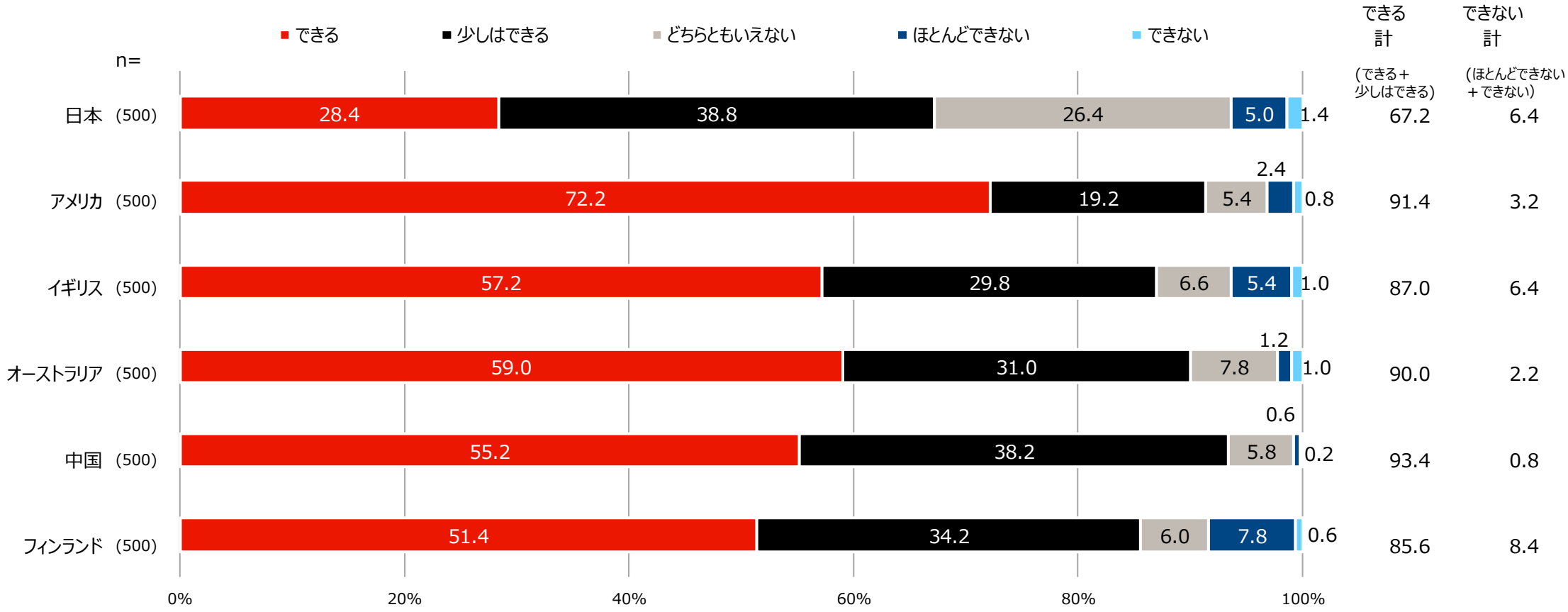
© Johnson & Johnson K.K. 2024

適切な医療受診や受診時の症状説明

適切な医療受診

Q18-1：あなたは、不調を感じた時に、適切に医療受診したり*、受診時に自分の症状を正しく伝えたりすることができますか？*適切な医療受診＝不調や違和感の内容に応じて、適切なタイミングで適切な医療施設・診療科を受診すること
適切な医療受診
（SA　設問対象者：全体）

不調や違和感が生じた時の「適切な医療受診」ができるか



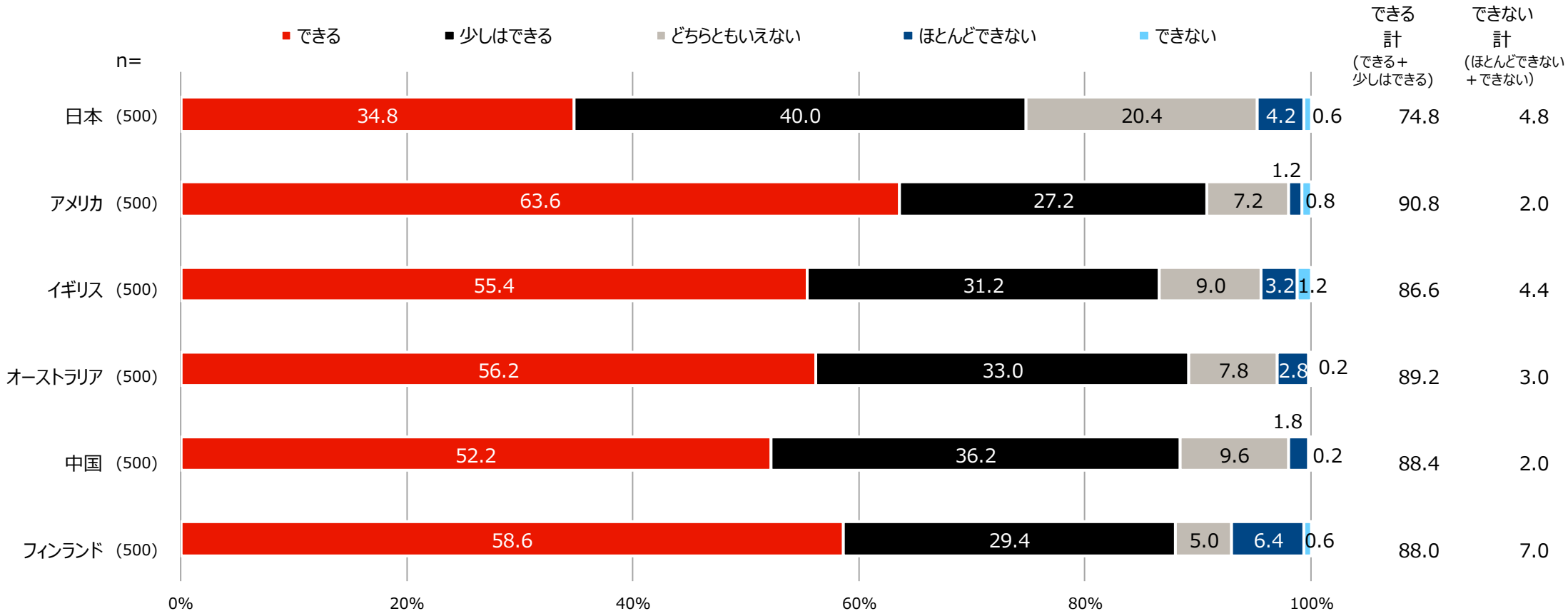
© Johnson & Johnson K.K. 2024

適切な医療受診や受診時の症状説明

受診時の症状説明

Q18-2：あなたは、不調を感じた時に、適切に医療受診したり*、受診時に自分の症状を正しく伝えたりすることができますか？*適切な医療受診＝不調や違和感の内容に応じて、適切なタイミングで適切な医療施設・診療科を受診すること
受診時に自分の症状を正しく伝えること
（SA　設問対象者：全体）

「受診時に自分の症状を正しく伝える」ことができるか



© Johnson & Johnson K.K. 2024

三大疾病等の予兆を感じたときの適切な行動

Q19：あなたは以下の疾患の予兆や事象に対して、適切な行動をとれますか？以下の中から、行動がとれるものをすべて選んでお答えください。
（MA　設問対象者：全体）

適切な行動がとれるもの

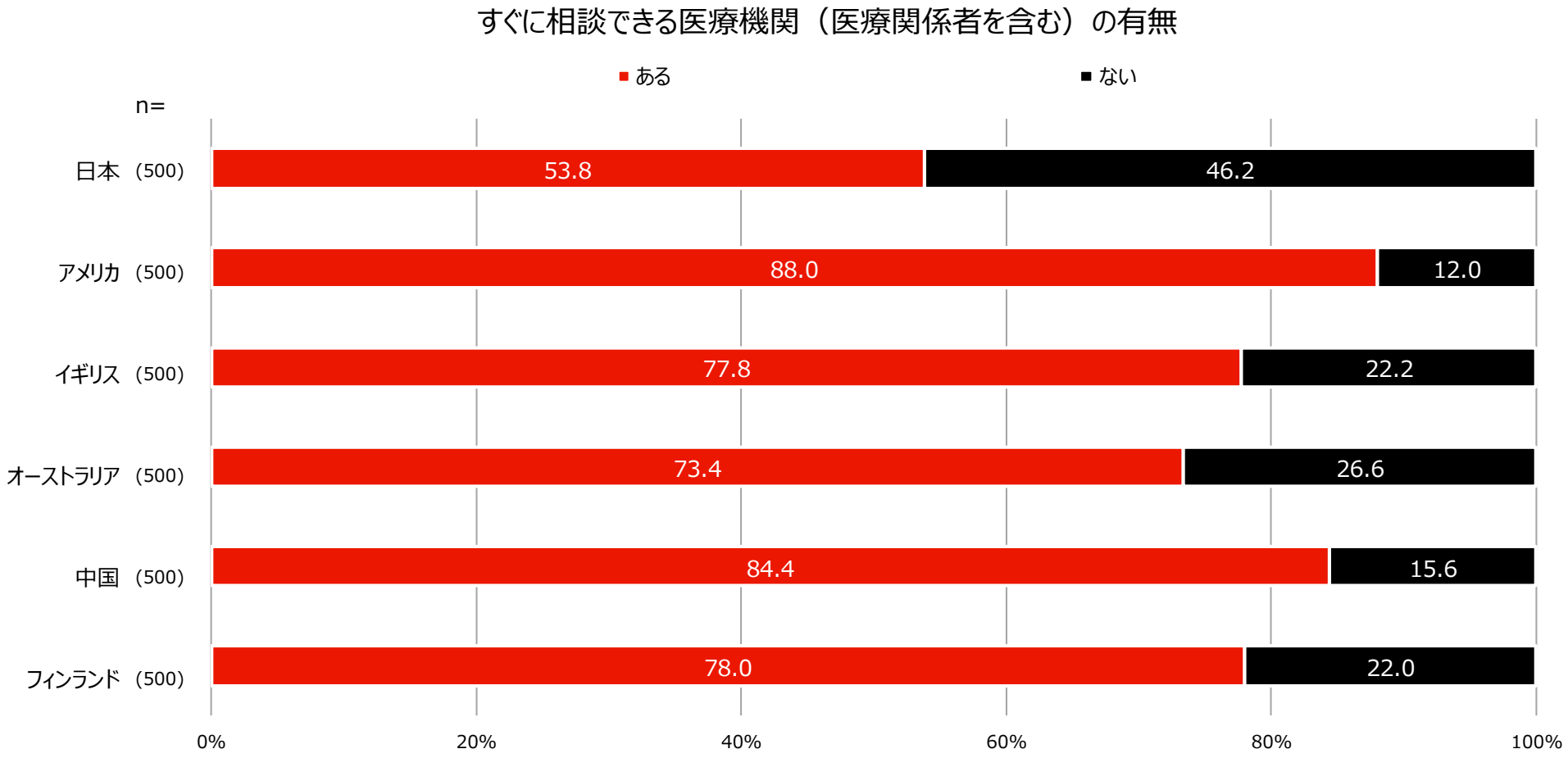
(%)

n=	ご自身のがんの予兆／初期症状	ご自身の循環器疾患の予兆／初期症状	ご自身の脳卒中の予兆／初期症状	必要な方がいる時に救急車を呼び、状況を説明できる	必要な方の応急処置（人工呼吸など）	必要な方に必要に応じたAEDの使用	あてはまるものはない（上記で、適切な行動をとれるものはない）
日本　(500)	16.8	19.4	13.2	43.8	11.4	11.6	48.0
アメリカ　(500)	32.4	36.0	31.6	63.2	38.6	14.6	13.6
イギリス　(500)	40.8	38.4	35.2	72.0	38.2	14.8	13.2
オーストラリア　(500)	25.4	29.8	28.2	67.6	36.4	16.4	16.0
中国　(500)	24.2	44.0	28.4	66.0	43.0	20.8	9.6
フィンランド　(500)	44.8	55.0	51.2	82.8	46.8	27.0	9.4

© Johnson & Johnson K.K. 2024

相談できる医療機関有無

Q22：あなたが、体の不調や違和感を感じた時に、すぐに相談できる医療機関（医療関係者を含む）はありますか。以下の中から、あてはまるものを一つ選んでお答えください。
（SA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

痛みや苦痛について

痛みや苦痛に対する考えや対応

Q20：以下の事柄について、あなたにあてはまるものをお答えください。
（各SA　設問対象者：全体）

慢性的な痛みや苦痛を感じている時の考えや対応

(%)

n=	現在、慢性的な痛みや苦痛を感じているが、我慢している	日常生活において慢性的な痛みや苦痛を感じても、できるだけ我慢する	日常生活において慢性的な痛みや苦痛を感じたら、すぐに医療機関に行く	日常生活において、不調や痛み・苦痛（慢性的なもの以外）を感じても、できるだけ我慢する	日常生活において、不調や痛み・苦痛（慢性的なもの以外）を感じたら、すぐに医療機関に行く	治療の痛みや苦痛はある程度は仕方がないと思っている	痛みや苦痛を感じない治療法を検討したい	治療の安全性を意識して治療法を検討したい	治療中や治療後の日常生活のQOL（クオリティ・オブ・ライフ「生活の質」）を意識した治療法を検討したい
日本　(500)	20.2	42.2	45.6	50.6	42.0	74.2	83.8	90.0	83.0
アメリカ　(500)	30.4	53.6	54.0	55.0	58.2	43.0	80.0	88.2	83.8
イギリス　(500)	16.2	50.4	46.8	64.4	42.8	44.0	83.4	90.6	89.0
オーストラリア　(500)	20.6	47.4	50.0	56.0	50.6	44.6	73.4	83.8	82.6
中国　(500)	17.6	30.8	71.4	25.6	71.8	70.0	77.8	84.6	80.2
フィンランド　(500)	35.8	56.0	30.0	64.2	32.2	71.0	73.6	89.6	91.2

※スコアは「はい」の一覧

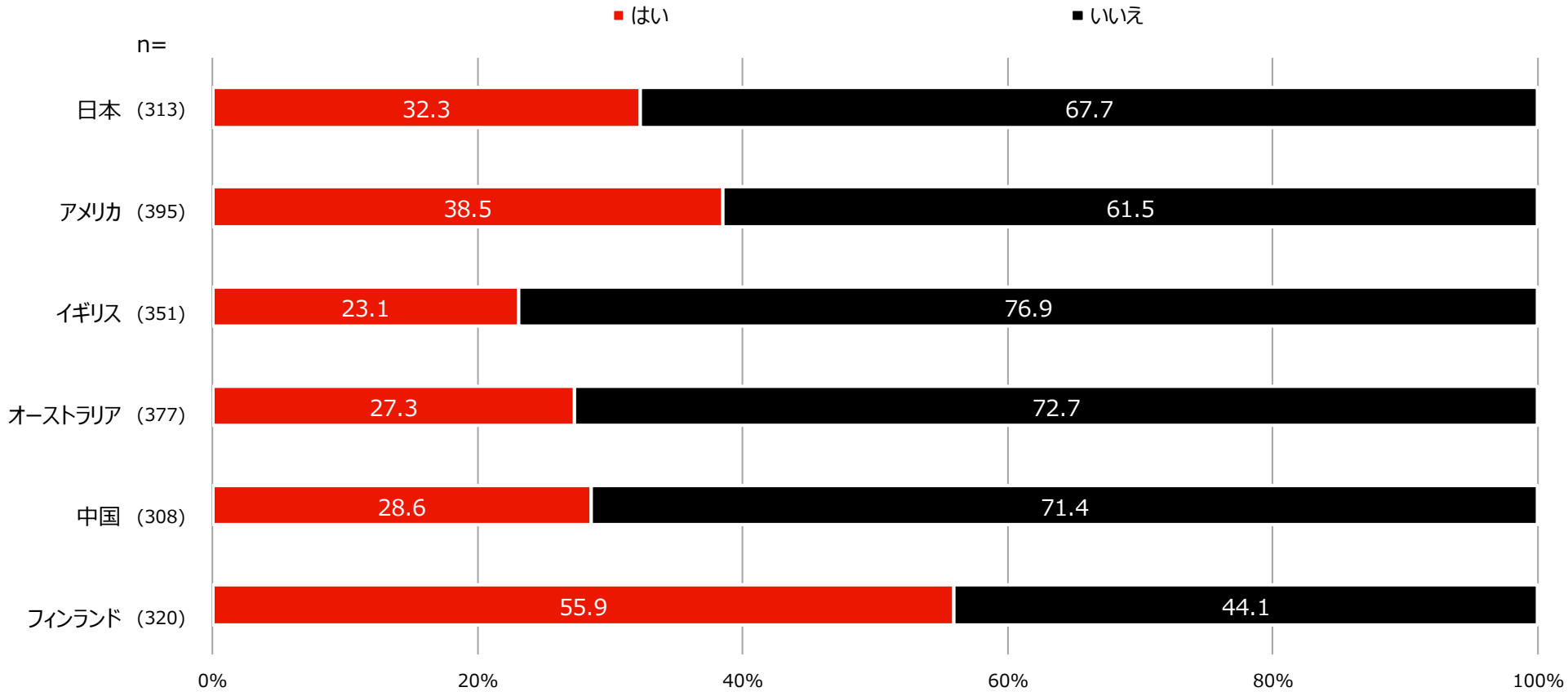
© Johnson & Johnson K.K. 2024

痛みや苦痛について

慢性的な痛みや苦痛を感じている時の対応

Q20-1：以下の事柄について、あなたにあてはまるものをお答えください。
現在、慢性的な痛みや苦痛を感じているが、我慢している
（各SA　設問対象者：全体）

現在、慢性的な痛みや苦痛を感じているが、我慢している
（現在、慢性的な痛みや苦痛を感じている人ベース）



※スコアは「現在、慢性的な痛みや苦痛を感じている人」ベースの集計を使用

© Johnson & Johnson K.K. 2024

痛みや苦痛について

痛みや苦痛を我慢する理由

Q21-1：前問で「現在、慢性的な痛みや苦痛を感じているが、我慢している」について、「はい」と回答した人にお聞きします。我慢する理由をお答えください。
（MA　設問対象者：慢性的な痛みや苦痛を我慢している人）

「慢性的な痛みや苦痛を感じているが、我慢している」と回答した理由
（慢性的な痛みや苦痛を我慢している人ベース）

(%)

n=	我慢できるくらいの痛み・苦痛だから	痛み・苦痛は感じるが日常生活に支障はないから	医療機関に行くのが面倒だから	医療機関に行っても治らないと思うから	手術が必要になったら嫌だから（手術は怖いから）	回復までに時間がかかりそうだから・長期的に医療機関に通うのが嫌だから	医療機関が遠いなど、医療機関に通いにくいから（アクセスしにくいから）	医療機関に通うと時間がかかるから（時間がないから）	医療機関にかかるとお金がかかるから	その他
日本　(101)	60.4	48.5	26.7	21.8	8.9	11.9	7.9	13.9	27.7	7.9
アメリカ　(152)	49.3	32.9	30.9	25.0	18.4	21.7	9.9	10.5	10.5	7.9
イギリス　(81)	42.0	30.9	28.4	30.9	16.0	18.5	7.4	9.9	11.1	16.0
オーストラリア　(103)	35.0	30.1	29.1	32.0	13.6	12.6	12.6	9.7	18.4	13.6
中国　(88)	59.1	58.0	36.4	15.9	14.8	29.5	10.2	10.2	10.2	0.0
フィンランド　(179)	38.5	34.6	32.4	48.6	9.5	3.9	6.7	3.4	20.7	15.6

© Johnson & Johnson K.K. 2024

痛みや苦痛について

痛みや苦痛を我慢する理由

Q21-2：前問で「日常生活において慢性的な痛みや苦痛を感じても、できるだけ我慢するについて、「はい」と回答した人にお聞きします。我慢する理由をお答えください。
（MA　設問対象者：日常生活で慢性的な痛みや苦痛を我慢している人）

「慢性的な痛みや苦痛を感じてもできるだけ我慢する」と回答した理由
（日常生活で慢性的な痛みや苦痛を我慢している人ベース）

(%)

n=	我慢できるくらいの痛み・苦痛だから	痛み・苦痛は感じるが日常生活に支障はないから	医療機関に行くのが面倒だから	医療機関に行っても治らないと思うから	手術が必要になったら嫌だから（手術は怖いから）	回復までに時間がかかりそうだから・長期的に医療機関に通うのが嫌だから	医療機関が遠いなど、医療機関に通いにくいから（アクセスしにくいから）	医療機関に通うと時間がかかるから（時間がないから）	医療機関にかかるとお金がかかるから	その他
日本　(211)	66.8	48.3	30.8	16.1	5.7	8.1	2.8	19.9	31.3	2.8
アメリカ　(268)	44.0	31.7	20.9	22.4	16.4	18.7	12.3	11.6	10.4	8.6
イギリス　(252)	39.7	31.3	27.0	22.2	13.1	16.3	13.5	11.9	7.9	7.1
オーストラリア　(237)	32.1	21.9	19.8	22.4	15.6	14.8	12.7	13.5	17.3	8.4
中国　(154)	50.0	40.9	27.3	16.9	20.8	18.2	18.2	16.2	15.6	0.0
フィンランド　(280)	39.6	35.7	28.6	37.9	7.9	9.3	7.1	7.1	17.5	13.2

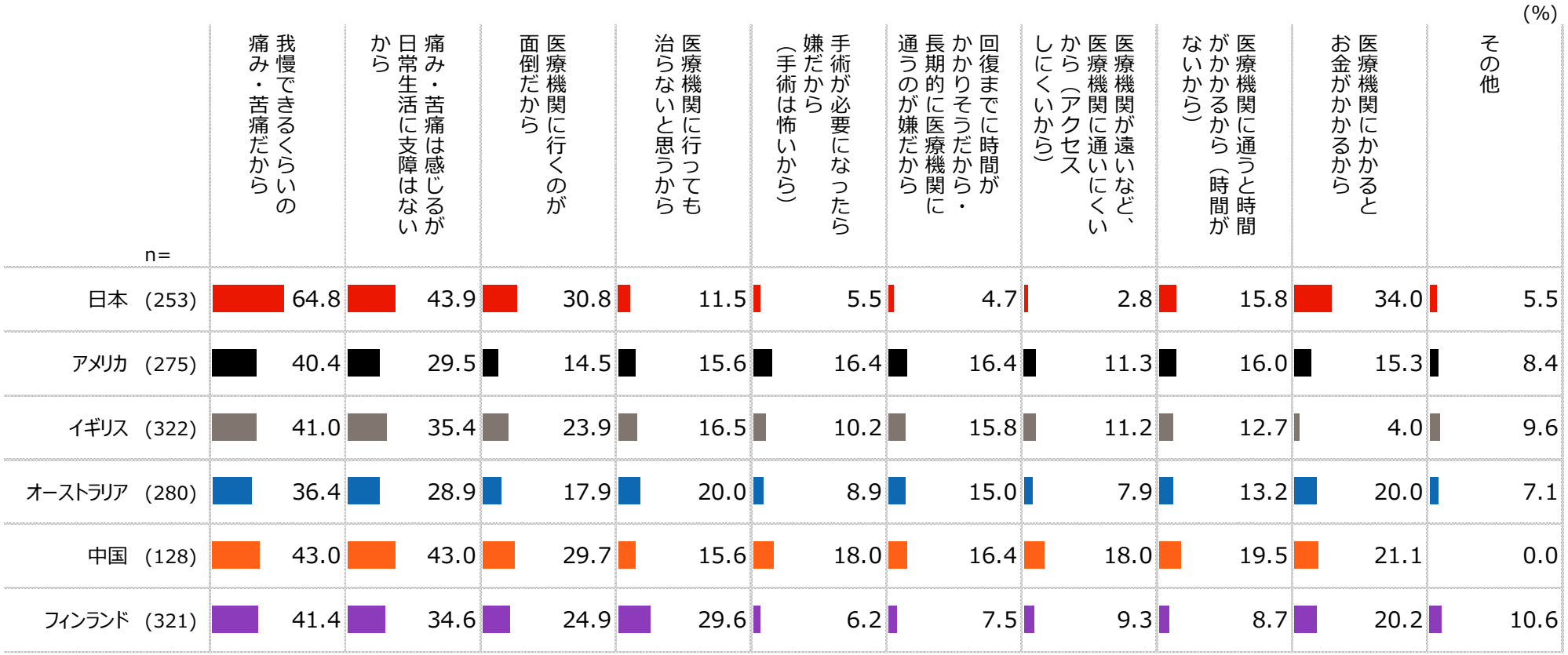
© Johnson & Johnson K.K. 2024

痛みや苦痛について

痛みや苦痛を我慢する理由

Q21-3：前問で「日常生活において、不調や痛み・苦痛（慢性的なもの以外）を感じても、できるだけ我慢する」について、「はい」と回答した人にお聞きします。我慢する理由をお答えください。
（MA　設問対象者：日常生活で不調や痛みを我慢している人）

「不調や痛み・苦痛を感じてもできるだけ我慢する」と回答した理由
（日常生活で不調や痛みを我慢している人ベース）



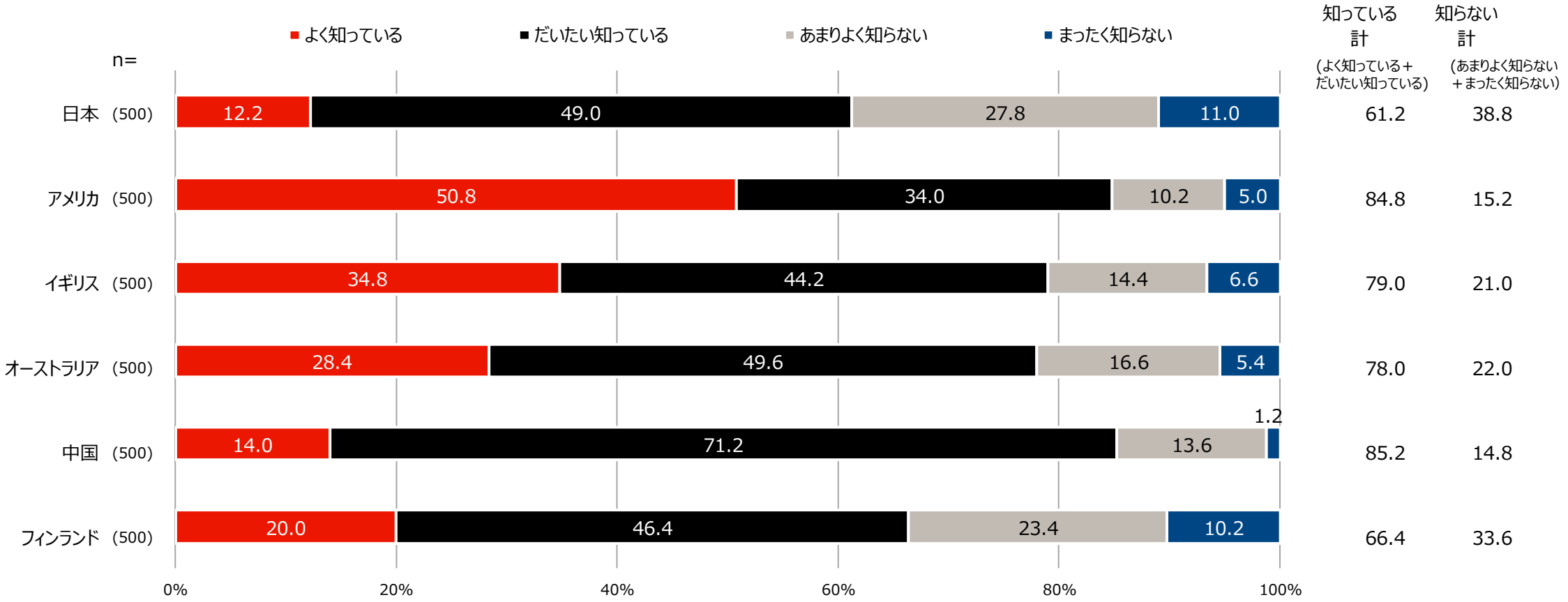
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康診断・がん検診について

健康診断・がん検診に関する情報認知

Q23-1：受けるべき健康診断・がん検診に関して、受診方法・対象年齢・受診頻度を知っていますか？
＜受診方法＞
（SA　設問対象者：全体）

健康診断・がん検診の受診方法認知



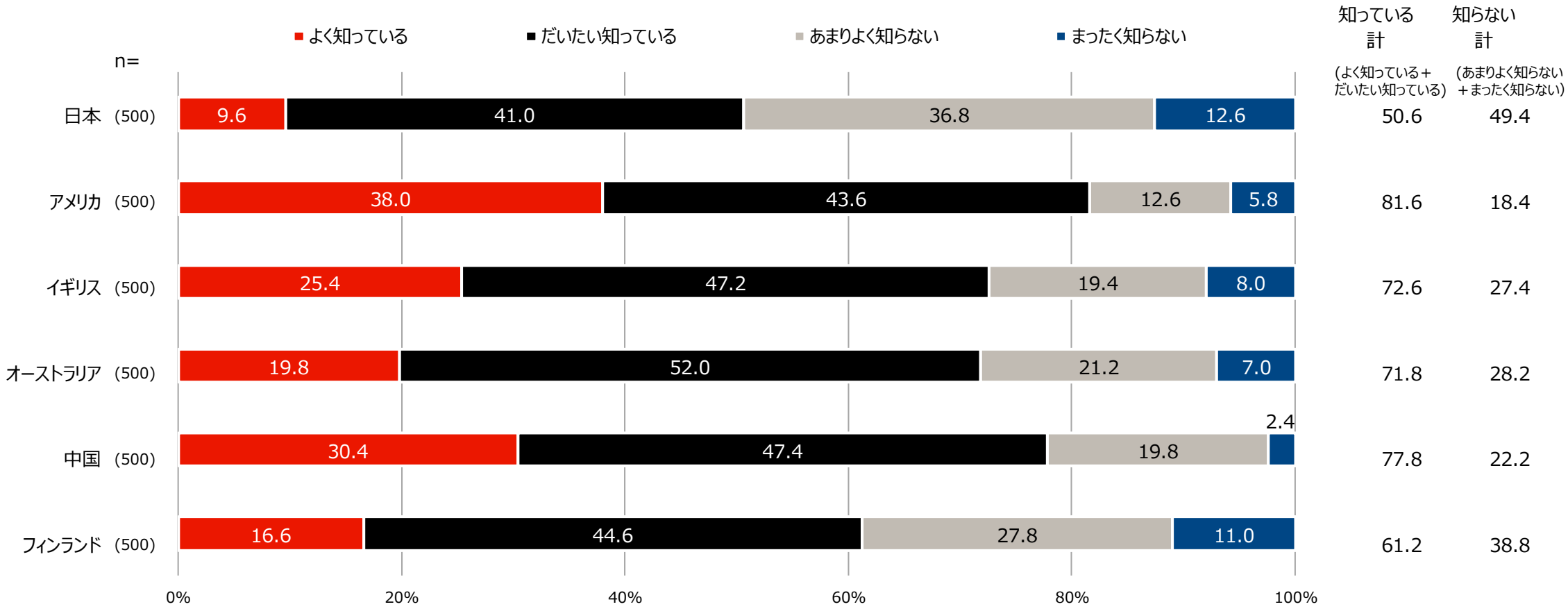
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康診断・がん検診について

健康診断・がん検診に関する情報認知

Q23-2：受けるべき健康診断・がん検診に関して、受診方法・対象年齢・受診頻度を知っていますか？
＜対象年齢＞
（SA　設問対象者：全体）

健康診断・がん検診の対象年齢認知



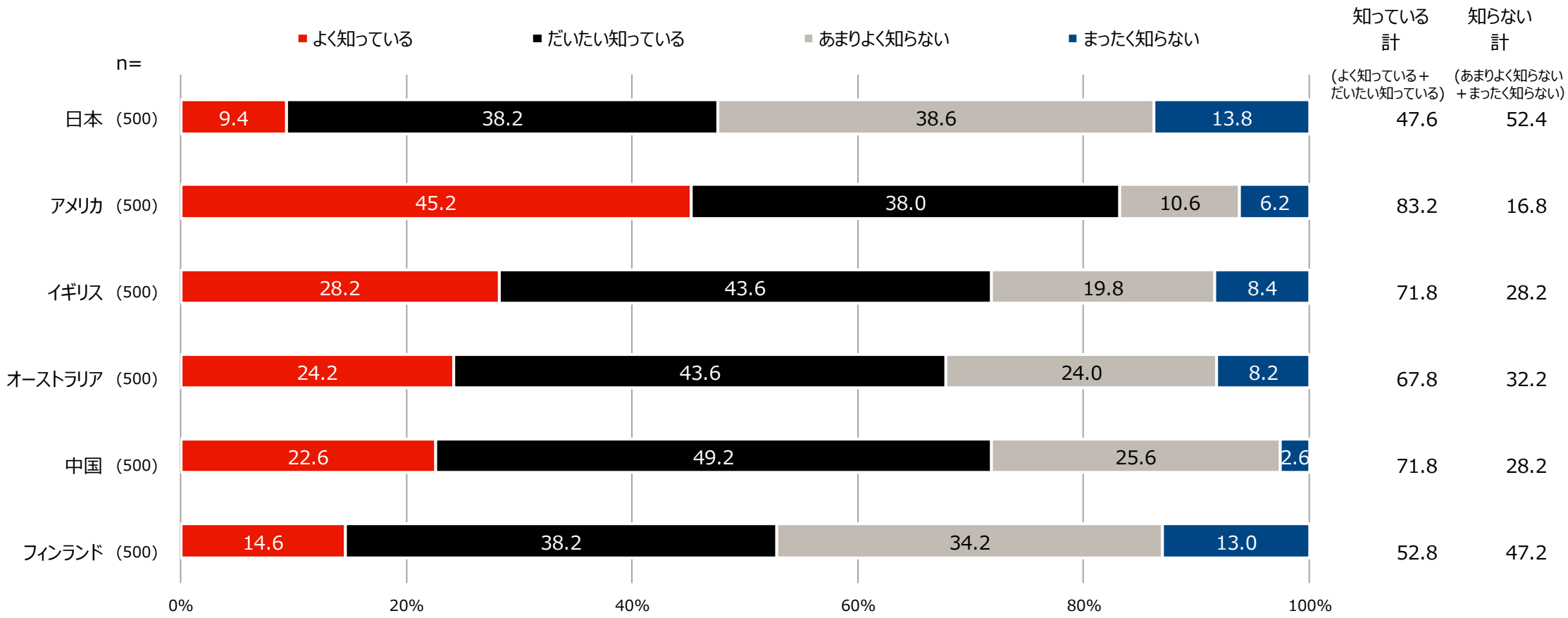
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康診断・がん検診について

健康診断・がん検診に関する情報認知

Q23-3：受けるべき健康診断・がん検診に関して、受診方法・対象年齢・受診頻度を知っていますか？
＜受診頻度＞
（SA　設問対象者：全体）

健康診断・がん検診の受診頻度認知



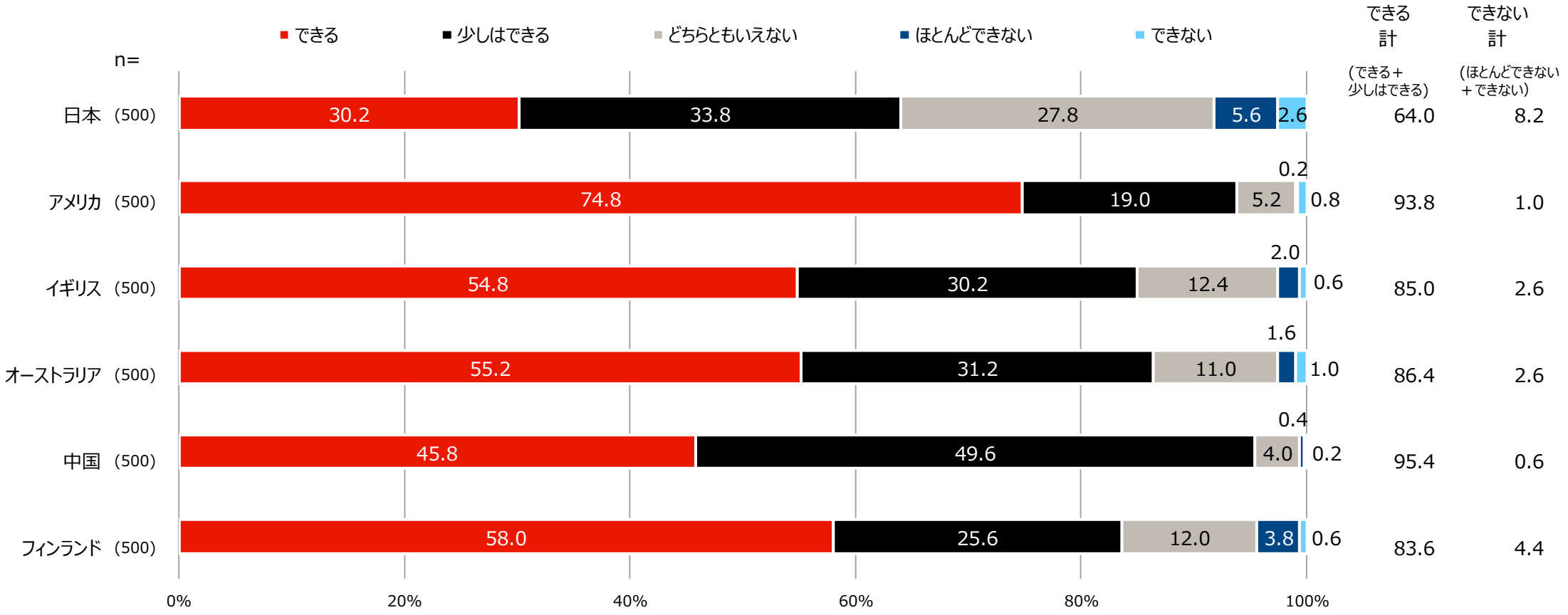
© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康診断・がん検診について

再検査への対応

Q28：健康診断、がん検診を受診後、再検査が必要になった際、適切な 行動*がとれますか？*適切な行動＝再検査に関する推奨・指示 <内容に応じて、適切にかかりつけ医に相談したり再検査を受けること>
（SA 設問対象者：全体）

再検査が必要になった際、適切な行動がとれるか



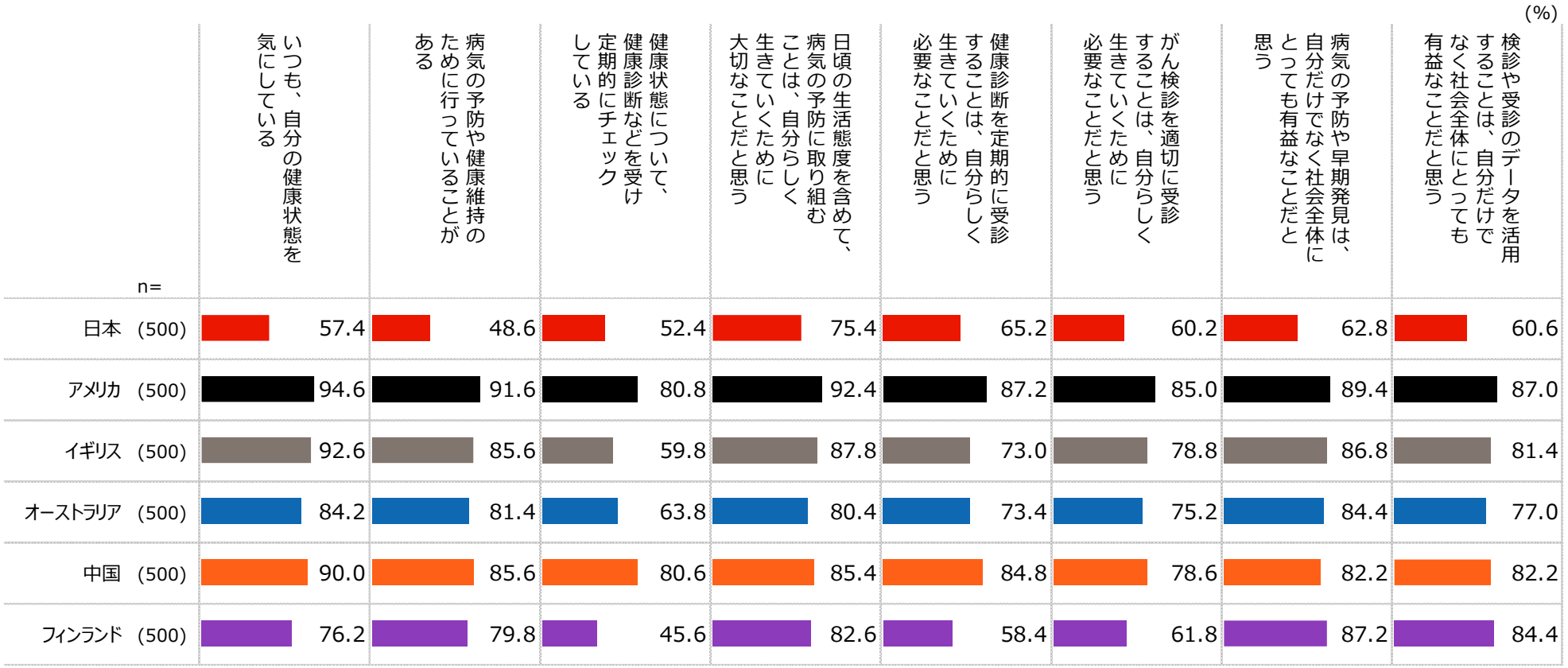
© Johnson & Johnson K.K. 2024

病気の予防や健康維持について

病気の予防や健康維持のための考えや行動

Q26：以下の事柄について、あなたにあてはまるものをお答えください。
（各SA　設問対象者：全体）

病気の予防や健康維持について



※スコアは「あてはまる」「ややあてはまる」の計

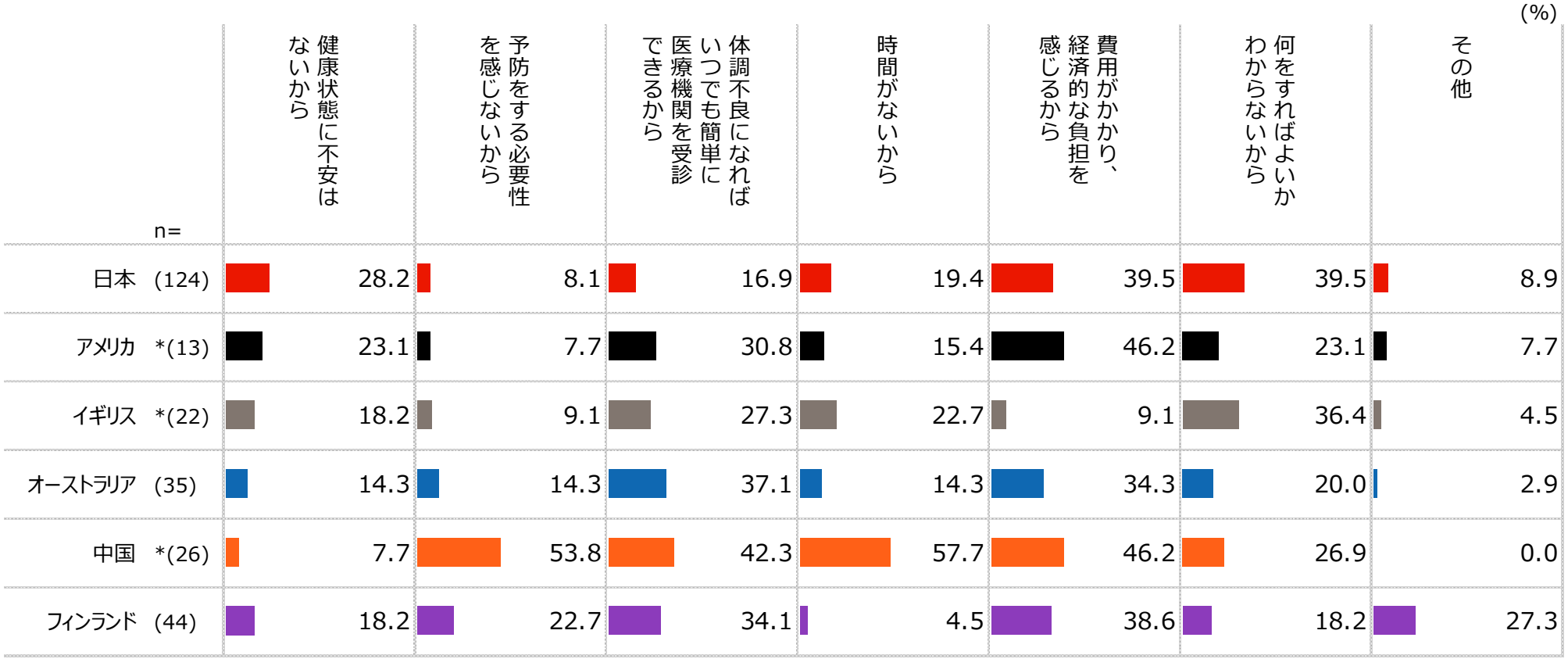
© Johnson & Johnson K.K. 2024

病気の予防や健康維持について

病気の予防や健康維持のための行動を行っていない理由

Q27：前問「病気の予防や健康維持のために、行っていることがある」について、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した方にお聞きします。
その理由をお答えください。
（MA　設問対象者：病気予防や健康維持の行動をしていない人）

病気の予防や健康維持のための行動をおこなっていない理由
（病気予防や健康維持の行動をしていない人ベース）



*n=30未満は参考値

© Johnson & Johnson K.K. 2024

コロナ禍前後での医療機関受診に対する意識や行動変化

Q29：あなたは、コロナ禍を経て、医療機関受診に対する意識や行動に変化はありましたか？
（MA　設問対象者：全体）

コロナ禍後の医療機関受診への意識・行動変化

(%)

n=	体のことで気になることがあればすぐに医療機関に行くようになった	医療機関に行く頻度が減った	健康診断や人間ドック、がん検診などを受けるようになった	体調不良などの時に、医療受診すべきかを主体的に（自身で）判断することは難しいことだと感じるようになった	できるだけ医療機関への負荷をかけないよう、健康管理を行うようになった（強化した）	自分の健康への意識が高まり、健康管理を行うようになった（強化した）	自分で健康・医療情報を（さらに）積極的に収集するようになった	医療受診控えの影響が出ていることを知り、良くないことだと感じた	コロナ禍前後で、気持ちや行動が変わったことはない
日本　(500)	15.0	13.4	7.0	9.8	12.6	18.0	9.8	4.8	50.0
アメリカ　(500)	36.0	15.6	19.2	17.0	18.6	23.2	21.0	9.4	30.0
イギリス　(500)	25.4	16.0	13.0	13.4	14.4	16.8	15.0	6.2	38.6
オーストラリア　(500)	23.4	17.6	14.8	11.6	16.2	16.6	12.6	5.2	39.2
中国　(500)	37.6	11.0	42.2	20.6	27.4	61.8	48.0	7.0	6.8
フィンランド　(500)	11.0	9.0	6.4	10.8	9.2	12.6	11.2	2.2	59.0

© Johnson & Johnson K.K. 2024

デジタル活用

J&J MedTech

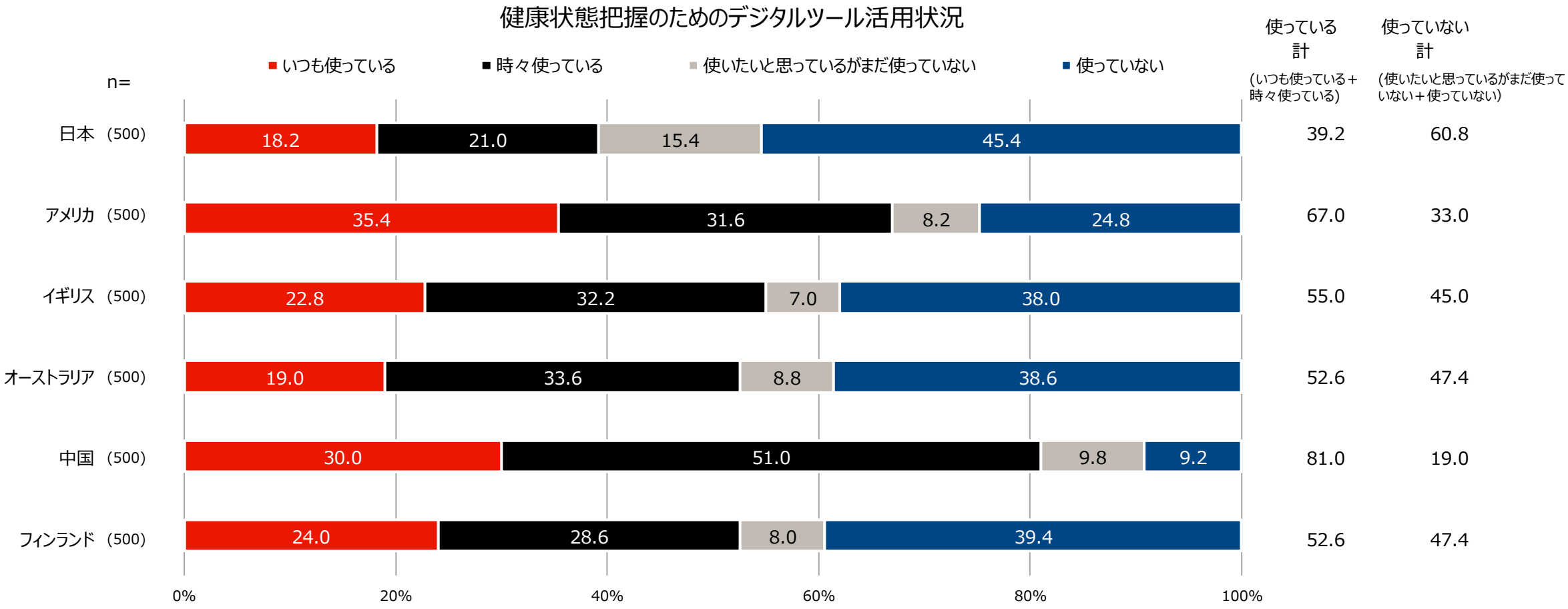
デジタル活用

- 健康管理におけるデジタル活用
- デジタル活用をする理由
- 日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用に対する考え
  - 日常生活におけるデジタル化やデータ活用
  - 自身の健康管理におけるデジタル化やデータ活用
  - 医療におけるデジタル化やデータ活用
- 健康管理においてデジタル化が広がることについて
- 医療でのデジタル化が広がることについて

© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康管理におけるデジタル活用

Q36：あなたはあなたの健康状態を把握するために、スマートウォッチ、活動量計、スマートフォンの健康管理アプリなどの、何等かのデジタルツールを使っていますか？
（SA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

デジタル活用をする理由

Q37：前問で「いつも使っている」「時々使っている」と回答した方にお聞きします。
使っている理由をお答えください。
（MA　設問対象者：健康関連デジタルツール使用者）

デジタルツールを活用する理由
（健康関連デジタルツール使用者ベース）

(%)

n=	手軽に日々の健康状態を把握できるから	複数の種類の数値を記録できて簡便だから	継続しやすいから	データを蓄積できるから	デジタルツールが安価になったから	自身の身体の変化をデータで確認することで、受診すべきか判断できるから（あるいは受診や早期発見に繋がった経験があるから）	医師や医療関係者に、自分の体調を説明しやすいから	その他
日本　(196)	60.2	22.4	43.9	45.9	14.8	8.2	11.7	5.6
アメリカ　(335)	65.1	47.2	44.2	40.3	17.9	29.3	19.7	1.8
イギリス　(275)	58.5	47.6	35.6	36.7	15.3	21.8	14.9	2.9
オーストラリア　(263)	49.0	50.2	35.7	35.4	16.3	20.2	14.4	3.0
中国　(405)	62.5	60.2	36.8	48.4	23.2	53.1	24.2	0.0
フィンランド　(263)	47.1	49.0	44.5	64.6	10.3	9.9	10.6	4.2

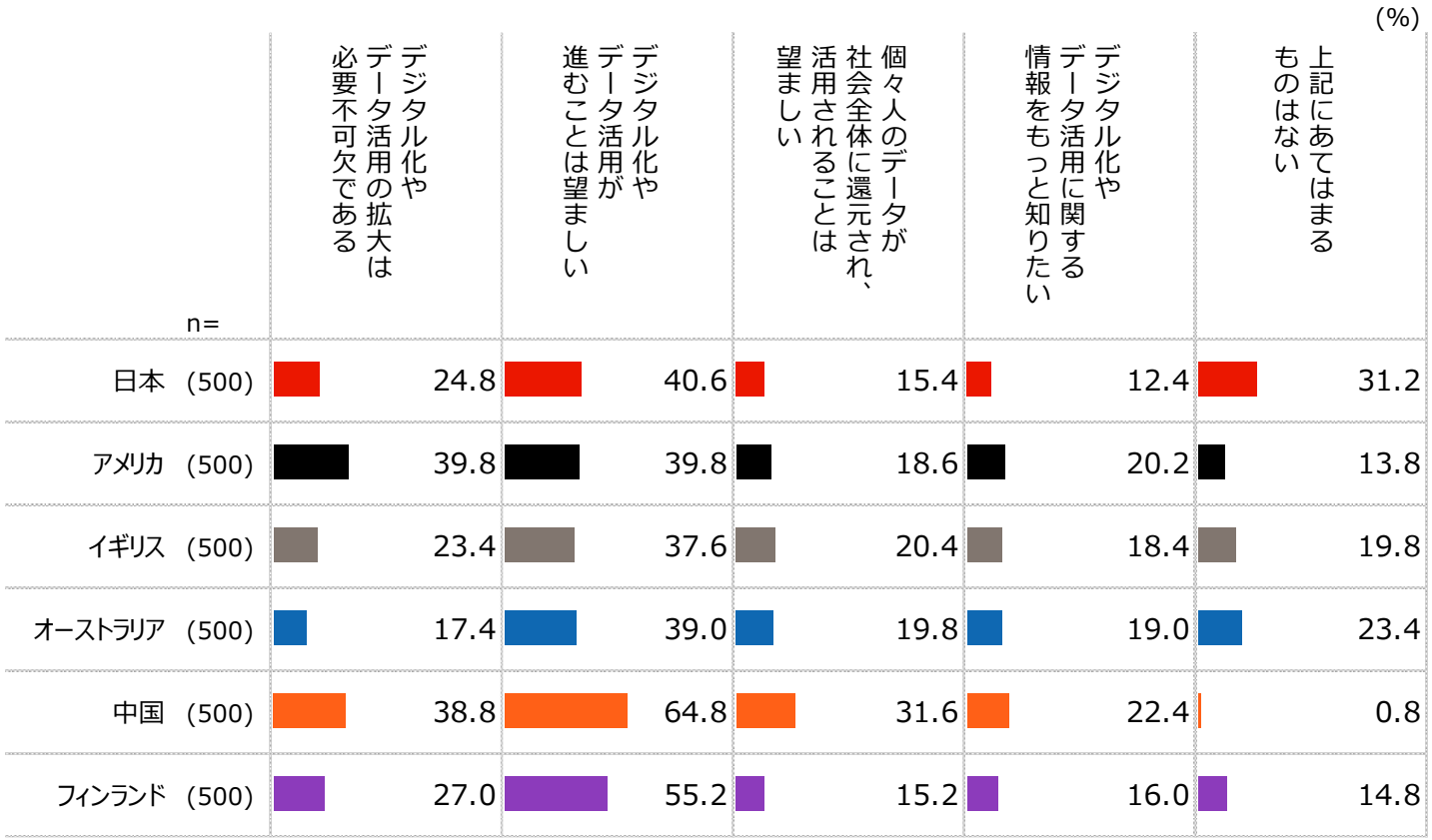
© Johnson & Johnson K.K. 2024

日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用に対する考え

Q38-1：日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用についてどのように考えていますか？（個人情報が保護されていることを前提とします）
＜日常生活（購買記録やキャッシュレス決済など）におけるデジタル化について＞
（MA 設問対象者：全体）

日常生活におけるデジタル化やデータ活用

日常生活におけるデジタル化への考え



© Johnson & Johnson K.K. 2024

日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用に対する考え

Q38-2：日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用についてどのように考えていますか？（個人情報が保護されていることを前提とします）
＜日常生活でのご自身の健康管理（運動量や食事内容の記録、体重や血圧の記録など）におけるデジタル化について＞
（MA　設問対象者：全体）

自身の健康管理におけるデジタル化やデータ活用

自身の健康管理におけるデジタル化への考え

(%)

n=	デジタル化やデータ活用の拡大は必要不可欠である	デジタル化やデータ活用が進むことは望ましい	個々人のデータが社会全体に還元され、活用されることは望ましい	デジタル化やデータ活用に関する情報をもっと知りたい	上記にあてはまるものはない
日本　(500)	19.8	41.4	16.0	11.8	31.6
アメリカ　(500)	27.0	42.0	22.6	20.2	12.0
イギリス　(500)	23.2	34.6	25.4	19.2	17.0
オーストラリア　(500)	19.2	34.4	23.4	16.8	20.4
中国　(500)	35.4	54.6	41.4	29.0	0.4
フィンランド　(500)	14.6	50.4	20.6	20.0	19.8

© Johnson & Johnson K.K. 2024

日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用に対する考え

Q38-3：日常生活や医療におけるデジタル化やデータ活用についてどのように考えていますか？（個人情報が保護されていることを前提とします）
＜医療（診察・診断・治療等）におけるデジタル化について＞
（MA 設問対象者：全体）

医療におけるデジタル化やデータ活用

医療におけるデジタル化への考え

(%)

n=	デジタル化やデータ活用の拡大は必要不可欠である	デジタル化やデータ活用が進むことは望ましい	個々人のデータが社会全体に還元され、活用されることは望ましい	デジタル化やデータ活用に関する情報をもっと知りたい	上記にあてはまるものはない
日本 (500)	25.8	42.0	18.4	12.6	29.4
アメリカ (500)	33.2	32.6	25.0	25.4	9.8
イギリス (500)	21.0	35.6	25.6	19.8	18.0
オーストラリア (500)	19.8	33.8	24.4	21.0	17.2
中国 (500)	34.2	53.4	44.6	30.0	1.2
フィンランド (500)	26.6	56.4	23.8	16.0	11.8

© Johnson & Johnson K.K. 2024

健康管理においてデジタル化が広がることについて

Q39：日常生活での健康管理(運動量や食事内容の記録、体重や血圧の記録など)において、デジタル化やデータ活用が広がることで、どのようなことになると思いますか？
（MA　設問対象者：全体）

日常生活での健康管理において、デジタル化やデータ活用が広がることで期待できること

(%)

n=	病気の早期発見・早期治療が可能になる	より適切な治療が受けられるようになる	治療中や治療後のQOL（生活の質）につながる	治療の精度が高まる	健康寿命を延ばすことができる	自分の健康管理に役立つ	受診時に自分の情報を医療関係者に伝えやすくなる	医療の質の向上につながる	手術や治療への心理的なハードルが下がる	医療現場の負担が軽減される・医療現場の労働生産性が高まる	個々人の医療費が抑制できる	予防行動を促進し、国の医療費の最適化につながる	その他
日本 (500)	44.6	39.8	22.4	31.2	20.2	53.4	24.6	19.0	6.2	10.6	14.0	15.8	10.6
アメリカ (500)	59.8	47.4	34.0	47.2	38.4	45.2	40.6	36.2	22.6	22.2	19.6	21.8	5.0
イギリス (500)	58.0	45.8	30.6	47.0	35.0	48.6	34.4	34.8	18.8	26.2	14.8	24.2	7.2
オーストラリア (500)	45.6	40.6	28.0	41.8	29.8	45.0	33.6	34.8	16.6	20.6	17.4	22.0	6.4
中国 (500)	51.0	43.8	33.6	38.0	29.8	58.2	34.0	43.0	23.8	23.4	13.6	15.6	0.2
フィンランド (500)	59.8	41.8	35.2	51.6	29.2	55.6	50.8	30.0	13.6	25.6	23.4	38.4	5.4

© Johnson & Johnson K.K. 2024

医療でのデジタル化が広がることについて

Q40：医療（診察・診断・治療等）でのデジタル化が広がることで、どのようなことになると思いますか？
（MA　設問対象者：全体）

医療でのデジタル化やデータ活用が広がることで期待できること

(%)

n=	病気の早期発見・早期治療が可能になる	より適切な治療が受けられるようになる	治療中や治療後の良いQOL（生活の質）につながる	治療の精度が高まる	健康寿命を延ばすことができる	自分の健康管理に役立つ	受診時に自分の情報を医療関係者に伝えやすくなる	医療の質の向上につながる	手術や治療への心理的なハードルが下がる	医療現場の負担が軽減される・医療現場の労働生産性が高まる	個々人の医療費が抑制できる	国の医療費の最適化につながる	その他
日本　(500)	44.0	38.2	21.0	32.8	18.0	41.2	27.6	24.0	6.6	18.2	14.4	13.6	10.8
アメリカ　(500)	52.0	46.2	32.0	46.0	35.6	46.2	40.6	36.0	22.6	22.4	18.6	19.0	6.0
イギリス　(500)	53.2	46.0	29.6	45.2	34.4	44.4	29.4	34.0	19.0	25.2	17.2	21.2	8.0
オーストラリア　(500)	47.0	44.0	25.0	45.4	27.6	42.0	30.4	34.6	16.4	24.2	17.0	20.0	5.8
中国　(500)	48.0	44.4	34.8	39.2	28.8	52.8	35.2	48.2	24.8	25.2	15.0	12.6	0.0
フィンランド　(500)	56.8	48.4	32.4	52.6	28.6	45.8	51.0	32.8	16.4	31.0	24.2	31.6	6.2

© Johnson & Johnson K.K. 2024

コミュニケーション

J&J MedTech

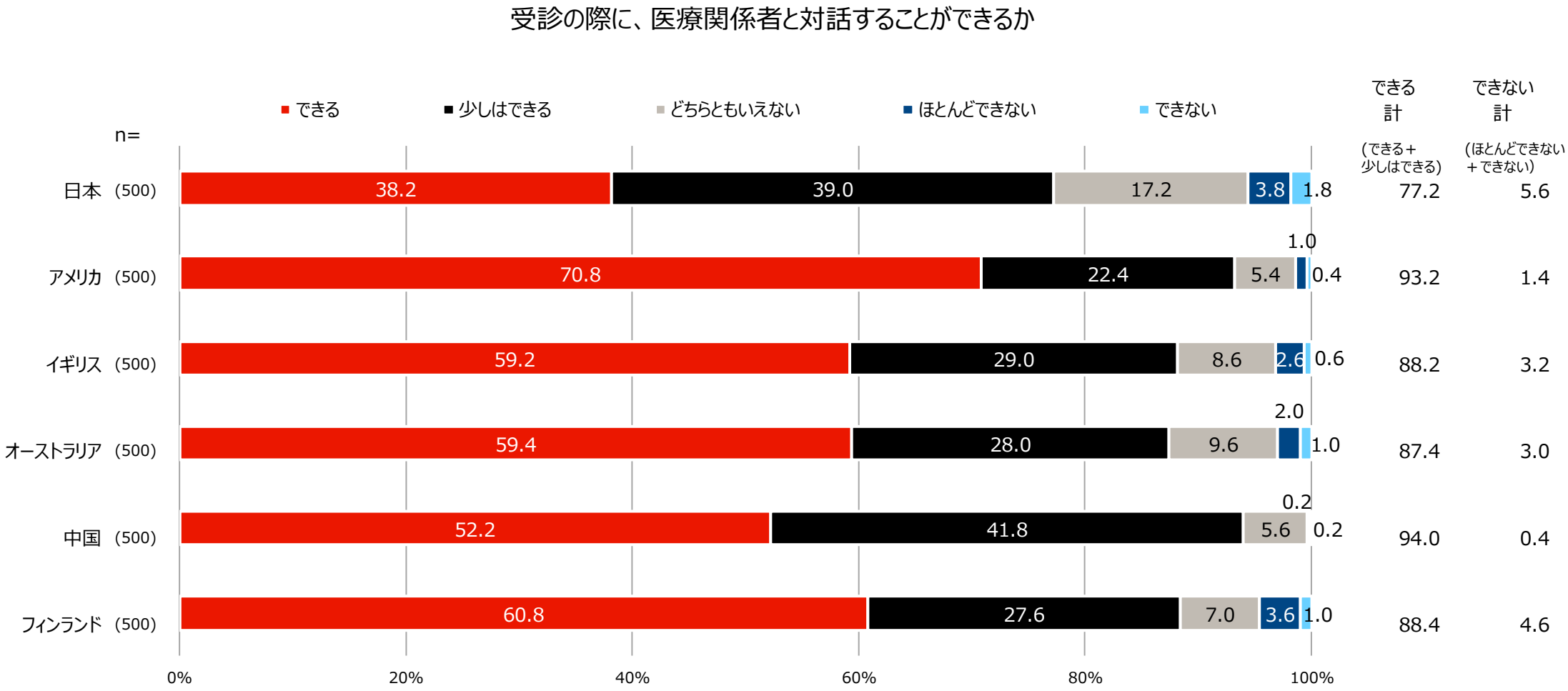
コミュニケーション

- 受診時の医療関係者との対話
- 受診時の医師とのコミュニケーションに対する意識と実態
- 治療方針の決定における主体的関与
  - 主体的関与に対する意向
  - 主体的関与への自己評価
  - 主体的関与ができることのメリット
- 主体的にできるようになるために必要なこと
- 主体的に適切な健康・医療の選択を行うための情報・知識の取得について
  - 取得意向
  - 取得状況

© Johnson & Johnson K.K. 2024

受診時の医療関係者との対話

Q30：あなたは、診察を受ける際に医療関係者（医師,看護士、薬剤師など）と対話*することができますか？
*対話＝医療関係者による説明の理解を深めたり、質問や自分の意見を伝えたりすること
（SA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

受診時の医師とのコミュニケーションに対する意識と実態

Q31：医療機関で受診する際、医師とのコミュニケーションで、以下の中からあてはまるものをすべてお答えください。
なおこれまでに以下のような場面を経験したことがない人は、想定してお答えください。
（MA　設問対象者：全体）

医療機関を受診する際の医師とのコミュニケーション状況

(%)

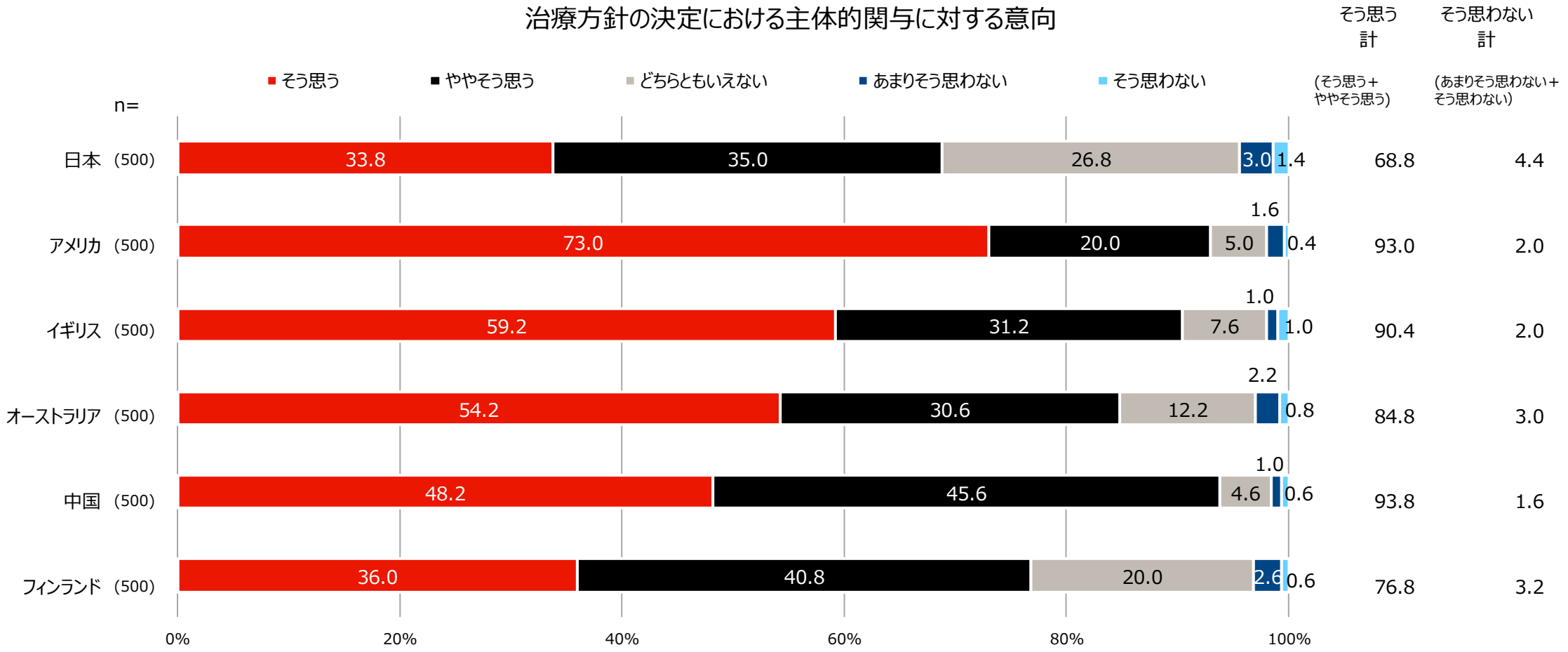
n=	医師と話す前に、医師と話すことや質問したいことを整理している	医師と話す前に、疾病や治療法について調べる・情報を入手する	医師と話す前に、手術方法について調べる・情報を入手する	医師と話すとき、緊張しないで話すことができる	自分の症状を的確に伝えることができる	疾病の治療法について、自分の希望を伝えることができる	病気や治療法について、事前に自分が入手していた情報があれば、必ず医師に伝える	治療中や治療後の日常生活のQOL（治癒だけでなく治療後の生活の質）も踏まえて治療について自分の意志を伝えることができる	病気や治療法に関する医師からの説明はいつも理解ができている	医師からの説明でわからないことがあればいつも質問している	医師が推奨する治療法のメリットとデメリットを必ず確認している	医師が推奨する治療法と自分の考えが異なる場合は、自分が納得できるまで話し合っている	診察時に、自分の思いや価値観について話し合っている	診察終了時には当初考えたことをすべて話し、疑問や質問はなくなっている	あてはまるものはない
日本　(500)	47.2	26.4	11.0	32.8	34.6	18.0	11.2	10.2	12.2	32.2	12.8	5.6	4.2	6.0	17.6
アメリカ　(500)	64.4	30.2	16.8	50.2	54.8	32.4	17.4	23.0	24.2	41.6	31.2	20.4	22.4	21.6	2.6
イギリス　(500)	66.6	32.2	15.6	49.8	53.6	26.8	14.8	17.2	24.6	45.0	28.2	19.2	21.0	19.2	2.4
オーストラリア　(500)	60.2	22.0	14.2	50.8	51.2	27.0	12.6	18.6	27.2	42.6	26.0	16.8	16.4	24.8	3.6
中国　(500)	41.2	46.0	30.6	34.2	53.0	34.8	29.6	28.0	30.4	32.8	27.6	20.4	17.2	18.6	0.4
フィンランド　(500)	70.4	40.0	12.6	52.0	66.4	21.8	10.0	24.8	25.8	56.2	39.2	14.0	11.8	16.6	2.6

© Johnson & Johnson K.K. 2024

治療方針の決定における主体的関与

主体的関与に対する意向

Q32：あなたは、病気やケガになり治療法を検討する際、ご自身の治療方針の決定に主体的に関与したいと思いますか？ なお、主体的関与とは、ご自身の価値観や意向を医療関係者と共有し、医療関係者から提供される医学的情報の理解を深めたうえで治療の決定に関与することを意味します。
（SA　設問対象者：全体）

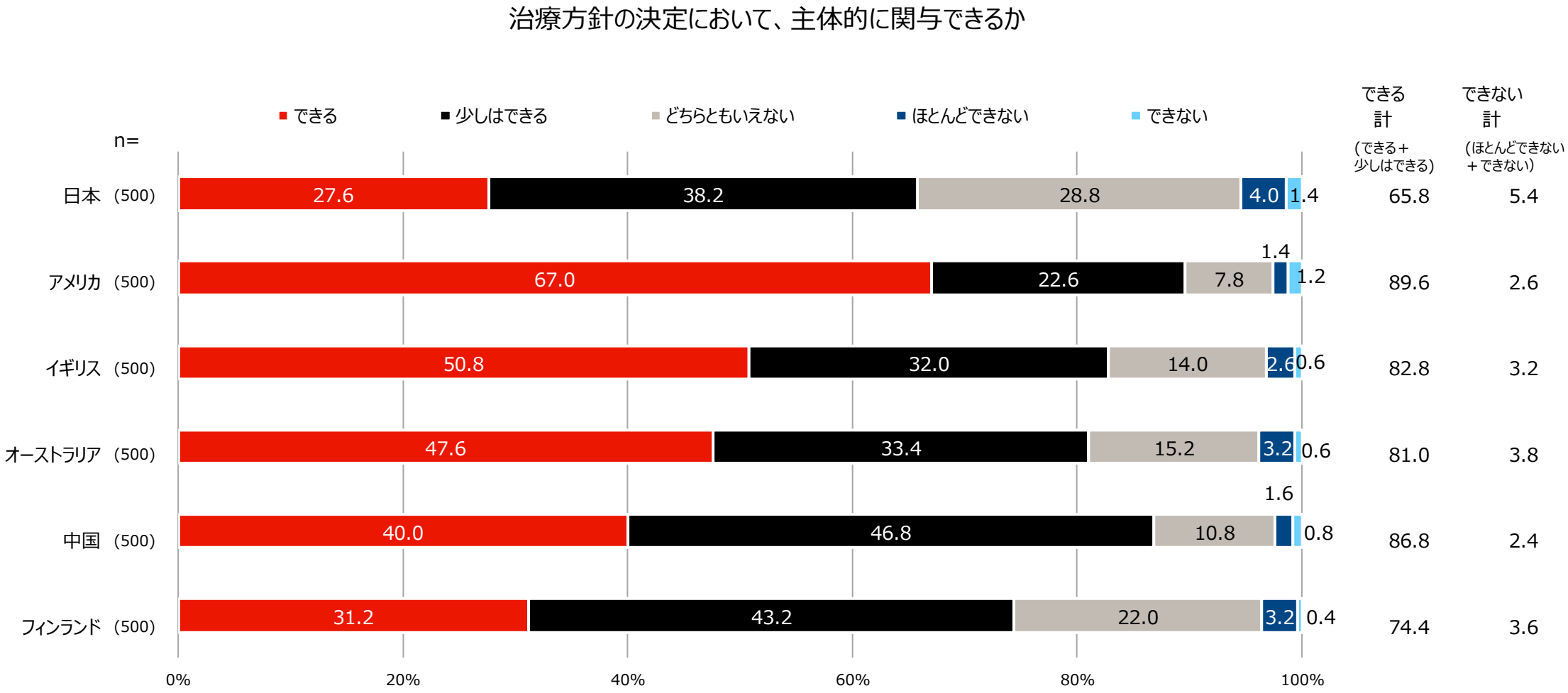


© Johnson & Johnson K.K. 2024

治療方針の決定における主体的関与

主体的関与への自己評価

Q33：あなたは、病気やケガになり治療法を検討する際、ご自身の治療方針の決定に主体的に関与できますか？ なお、主体的関与とは、ご自身の価値観や意向を医療関係者と共有し、医療関係者から提供される医学的情報の理解を深めたうえで治療の決定に関与することを意味します。
（SA　設問対象者：全体）



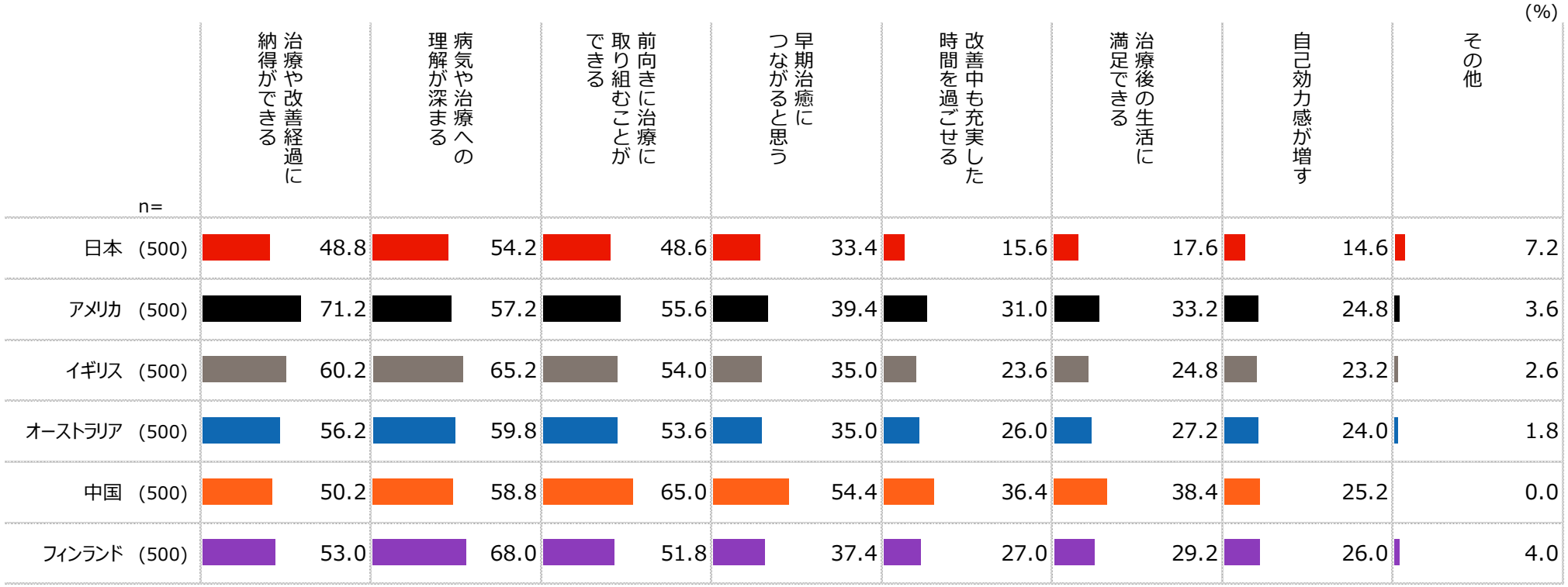
© Johnson & Johnson K.K. 2024

治療方針の決定における主体的関与

主体的関与ができることのメリット

Q34：あなたは、病気やケガになり治療法を検討する際、ご自身の治療方針の決定に主体的に関与できることのメリットはどのようなことだと思いますか？
なお、主体的関与とは、ご自身の価値観や意向を医療関係者と共有し、医療関係者から提供される医学的情報の理解を深めたうえで治療の決定に関与することを意味します。
（MA　設問対象者：全体）

治療方針の決定における主体的関与できることによるメリット



© Johnson & Johnson K.K. 2024

主体的にできるようになるために必要なこと

Q35：あなたは、病気やケガになり治療法を検討する際、ご自身の治療方針の決定に主体的に関与できるようになるためにどのようなことが必要だと思いますか？ なお、主体的関与とは、ご自身の価値観や意向を医療関係者と共有し、医療関係者から提供される医学的情報の理解を深めたうえで治療の決定に関与することを意味します。
（MA　設問対象者：全体）

治療方針の決定における主体的関与ができるようになるために必要なこと

(%)

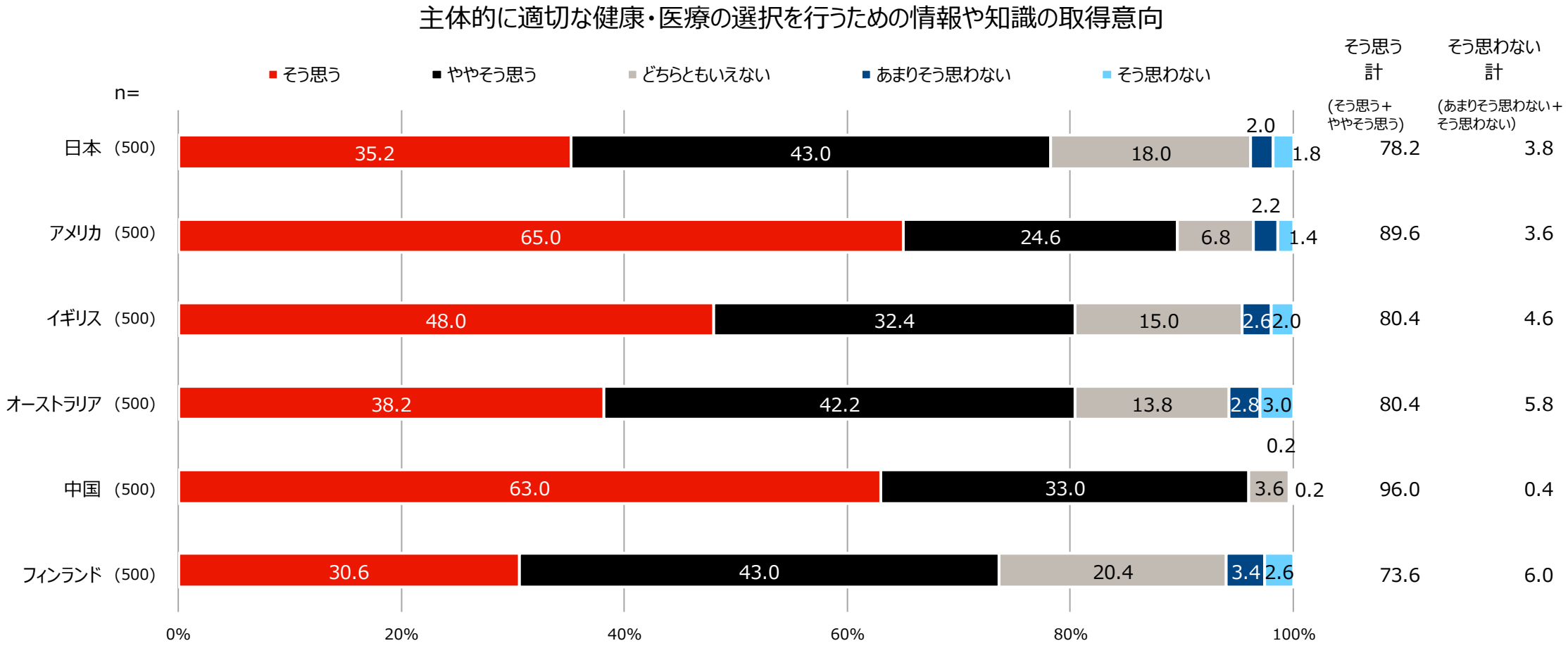
n=	病気やケガの症状や治療方法などの情報収集ができるようになること	収集した病気やケガの症状や治療方法などの情報が、正しい情報であると判断できるようになること	病気やケガの症状や治療方法などに関するエビデンスが読み解けるようになること	インターネットなどを利用して、自分の病気やケガの症状や治療方法などを相談できる仕組みがあること	かかりつけ医をもつこと	病気やケガの症状を正しく説明できるようになること	医師など医療関係者と対話（医療関係者による説明の理解を深めたり、質問や自分の意見を伝えたりすること）できるようになること	医師と複数の治療選択肢について話せるようになること	必要に応じて、セカンドオピニオン（別の医師の意見を聞くこと）を受けるようになること	医師など医療関係者との会話をサポートしてくれるような仕組みやツールがあること	デジタルツールによって自身の健康管理ができるようになること	医療現場でのデジタル活用が広がること	その他
日本　(500)	47.8	40.6	21.2	22.6	41.2	32.6	23.4	19.4	30.6	11.4	10.2	10.8	7.2
アメリカ　(500)	63.4	45.4	40.6	28.0	51.4	39.6	38.4	43.6	35.0	22.2	20.2	10.0	2.6
イギリス　(500)	58.2	45.8	43.0	27.8	49.6	42.2	40.6	39.8	34.2	16.6	15.6	8.4	2.0
オーストラリア　(500)	45.8	41.4	34.0	23.6	51.6	42.2	36.8	42.4	36.4	16.6	13.8	7.4	1.8
中国　(500)	48.6	46.6	44.6	42.0	13.6	44.8	42.2	31.4	28.4	27.0	22.0	9.4	0.0
フィンランド　(500)	50.6	44.4	37.6	20.0	40.2	49.0	49.4	46.4	34.0	18.6	16.6	10.8	5.2

© Johnson & Johnson K.K. 2024

主体的に適切な健康・医療の選択を行うための情報・知識の取得について

取得意向

Q44：あなたは、主体的（自分の意志で）に適切な健康・医療の選択を行うために、新しい情報・知識を得たいと思いますか？
（SA　設問対象者：全体）



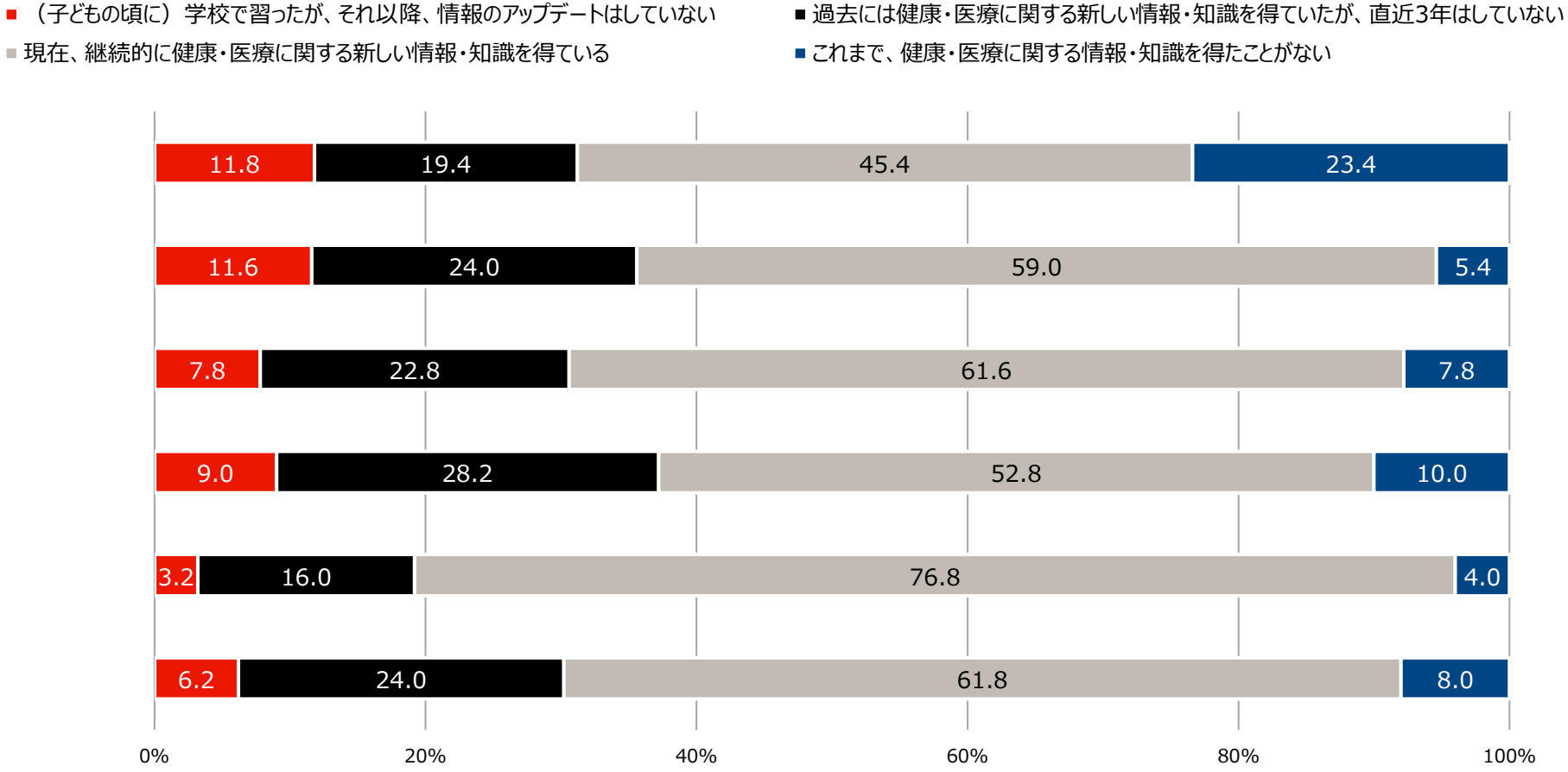
© Johnson & Johnson K.K. 2024

主体的に適切な健康・医療の選択を行うための情報・知識の取得について

Q45：あなたは、主体的（自分の意志で）に適切な健康・医療の選択を行うために、新しい情報・知識を得ていますか？
（SA　設問対象者：全体）

取得状況

主体的に適切な健康・医療の選択を行うための情報や知識の取得状況



© Johnson & Johnson K.K. 2024

回答者属性

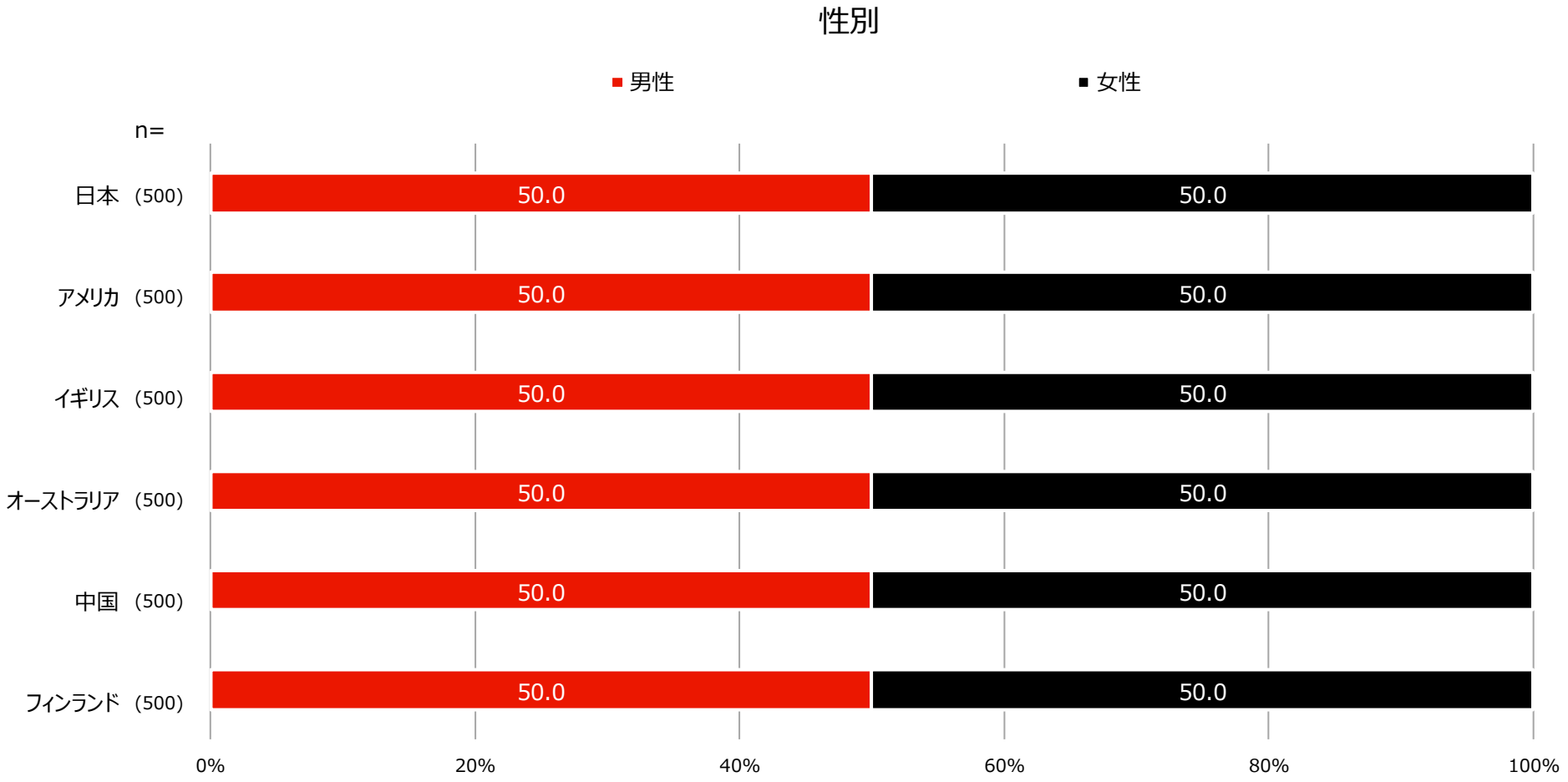
J&J MedTech

回答者属性

- 性別
- 年代別
- 性年代別
- 入院・手術経験

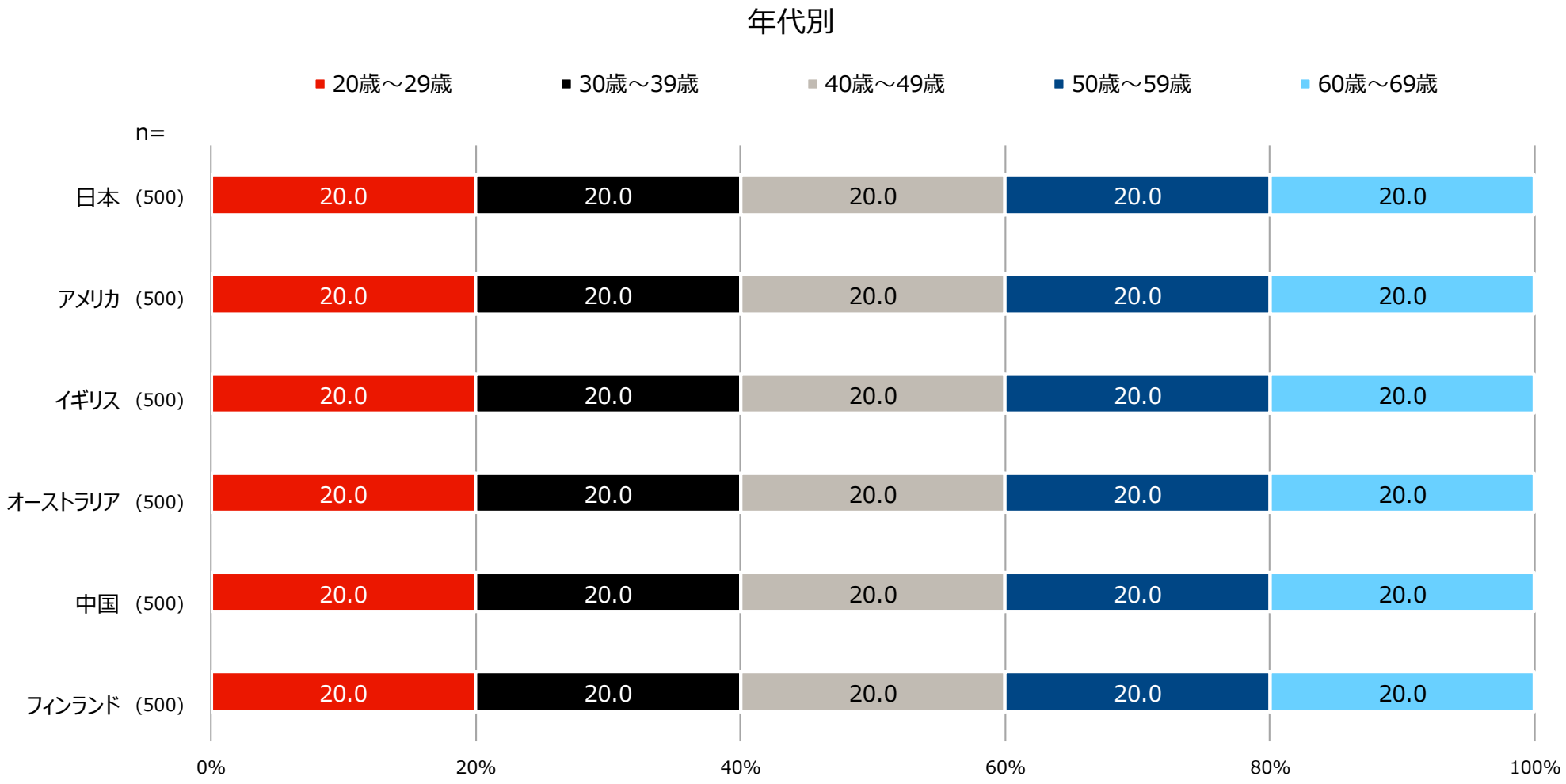
© Johnson & Johnson K.K. 2024

性別



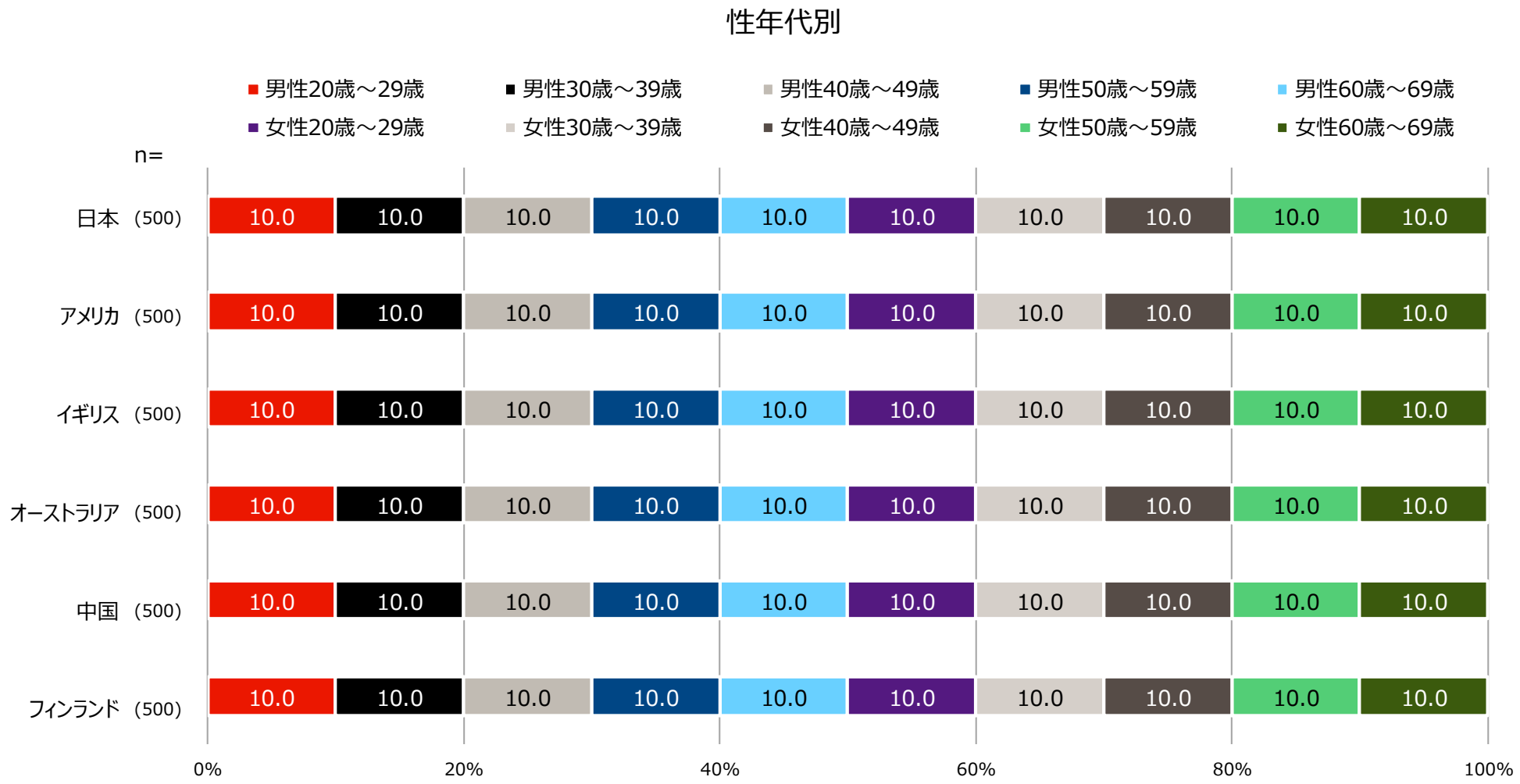
© Johnson & Johnson K.K. 2024

年代別



© Johnson & Johnson K.K. 2024

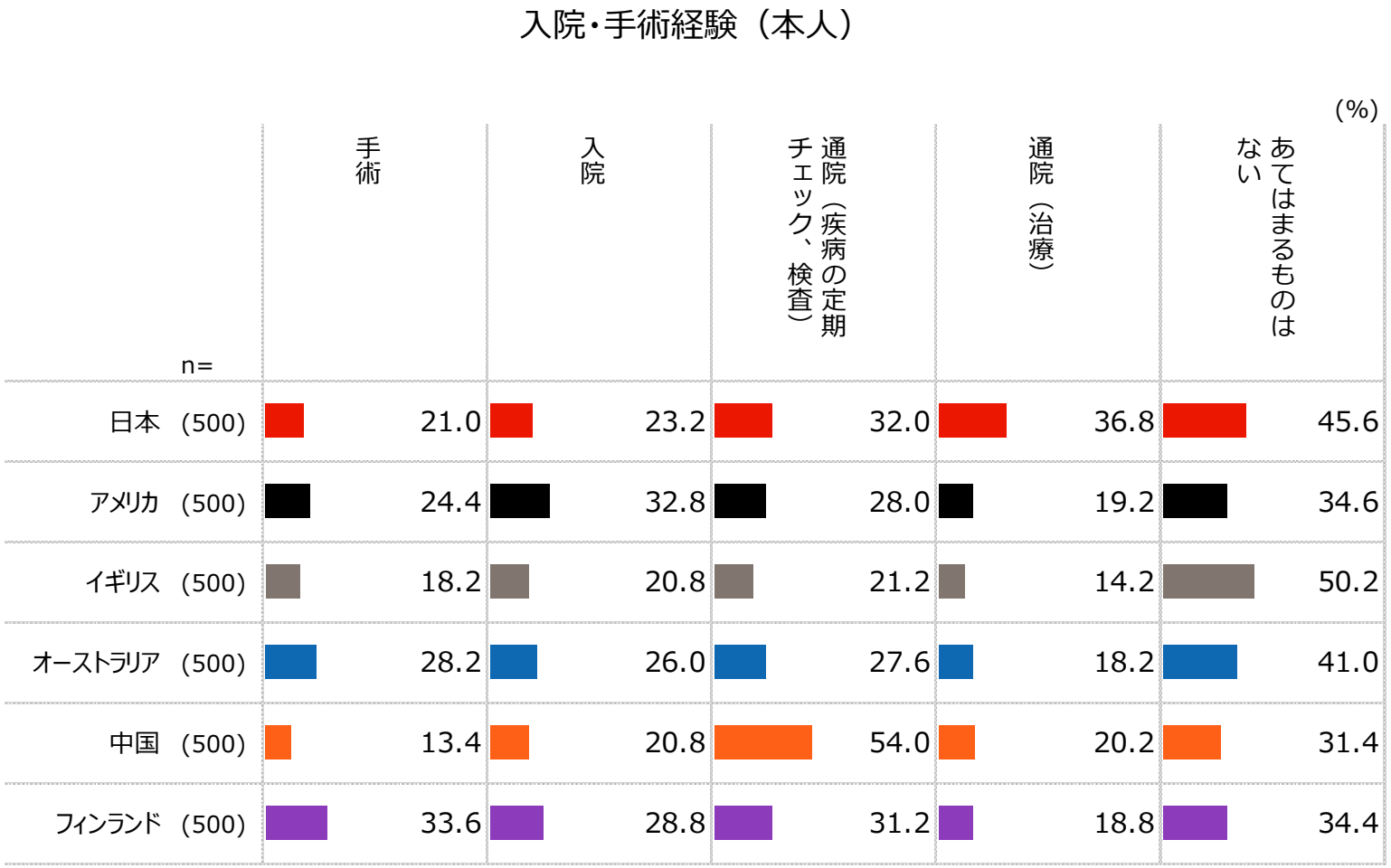
性年代別



© Johnson & Johnson K.K. 2024

入院・手術経験（本人）

Q47-1：直近5年以内に、あなたやあなたのご家族は手術を受けたり、入院したりしたことがありますか？あなたとご家族それぞれについて、あてはまるものをすべてお答えください。
＜あなたご自身＞
（MA　設問対象者：全体）



© Johnson & Johnson K.K. 2024

入院・手術経験（家族）

Q47-2：直近5年以内に、あなたやあなたのご家族は手術を受けたり、入院したりしたことがありますか？あなたとご家族それぞれについて、あてはまるものをすべてお答えください。
＜あなたのご家族＞
（MA　設問対象者：全体）

入院・手術経験（家族）

(%)

n=	手術	入院	通院（疾病の定期チェック、検査）	通院（治療）	あてはまるものはない
日本　(500)	21.8	26.6	33.6	31.8	47.6
アメリカ　(500)	22.8	30.6	30.0	24.8	36.2
イギリス　(500)	25.0	29.6	26.4	20.8	42.6
オーストラリア　(500)	30.4	29.6	27.2	21.8	35.6
中国　(500)	11.2	26.4	52.4	26.6	25.8
フィンランド　(500)	33.4	30.2	25.4	20.0	36.0

© Johnson & Johnson K.K. 2024

お問い合わせ先

ジョンソン・エンド・ジョンソン メドテック
コミュニケーション & パブリックアフェアーズ
DL-Press_CnPA@its.jnj.com

Johnson&Johnson
MedTech